

履修編

農学部

応用生物学部

生命科学部

地域環境科学部

国際食料情報学部

『履修編』を読むにあたって

■履修すること

大学で授業を受けるためには、自ら科目を選び登録しなければなりません。この一連の行為を「履修登録」といいます。「履修登録」していない科目は、試験を受ける資格がありません。また、成績（評価）が付くこともありません。従って、正しく履修登録しないと、進級することも卒業することもできないのです。

この「履修編」は、みなさんが本学で学ぶうえでのガイドブックとして作成しており、カリキュラムや授業・試験などの内容や、さまざまな手続き、決まりごとを掲載しています。履修登録する際には、別途配付した「履修のてびき」を併せて熟読し、自分の将来計画・資格取得等を充分考慮して「履修登録」してください。

本学では、みなさんへの伝達事項（呼び出し・時間割発表など）は、「学生ポータルサイト」、「書類配付」または「掲示」で行っています。まず「学生ポータルサイト」を見る習慣を身に付けてください。また、配付された書類は、必ずよく読んでください。さらに、各種手続き・提出物に関しては、提出期日を必ず守ってください。卒業後、実社会での諸手続きの期限は実に厳格です。この社会に適應する意味においても在学中から「締切日1日前の提出」を心がけてください。掲示や配付した書類を読んでもなおわからない場合には、窓口（世田谷キャンパス＝教務課／厚木キャンパス＝学生教務課）で相談してください。

授業科目の履修にあたっては、各自の学修目的及び所属学部・学科の教育目標を十分理解し、それを基本にした上で、慎重に行なってください。

■学生諸君への注意事項

- 1 「学生ポータルサイト」・「掲示板」を必ず確認すること
- 2 配付された書類は熟読すること
- 3 履修登録やレポートなどの提出期限を守ること（締切後は受け付けない）
- 4 電話やメールでの問い合わせは、原則として受け付けない
- 5 窓口の業務時間は次のとおり（質問・相談等は業務時間内に行うこと）

〔平日〕 世田谷キャンパス 8:30～19:30（～17:00） 厚木キャンパス 8:30～17:00

※時間外は受け付けません

※（ ）の時間は授業日及び追試験・成績相談日以外の業務時間です

■学部・学科等の名称の短縮表示・表示順番について

学部・学科等の短縮名と表示順は次のとおりです。

学部・学科等の短縮名

学 部 名 等	短 縮 名	学 部 名 等	短 縮 名
農学部	農学部	英語による専門教育プログラム	英語専門
農学科	農学	全学共通科目	全学共通
動物科学科	動物	教職課程	教職
生物資源開発学科	資源	学術情報課程	学情
デザイン農学科	デザイン		
応用生物科学部	応生学部		
農芸化学科	化学		
醸造科学科	醸造		
食品安全健康学科	健康		
栄養科学科	栄養		
生命科学部	生命学部		
バイオサイエンス学科	バイオ		
分子生命化学科	生化		
分子微生物学科	微生物		
地域環境科学部	地域学部		
森林総合科学科	森林		
生産環境工学科	工学		
造園科学科	造園		
地域創成科学科	創成		
国際食料情報学部	国際学部		
国際農業開発学科	開発		
食料環境経済学科	経済		
国際バイオビジネス学科	ビジネス		
国際食農科学科	食農		

厚木キャンパス

■農 学 部

授業科目の概要

授業科目は、本学の教育目標を達成するために、次のように分けられ各年次に配当されています。

1 科目の区分

- (1) 必修科目：必ず修得しなければならない科目
- (2) 選択必修科目：限定された科目群の中から、指定された単位数を修得しなければならない科目
- (3) 選択科目：学生の意思により選択し、卒業要件単位数以上を修得しなければならない科目

2 総合教育科目

- (1) 全学共通
 - ① 導入科目：大学での学修と学生生活のための基礎的技能を涵養するための科目
 - ② 課題別科目：農学を多角的視点から理解する学科横断的な科目
 - ③ スポーツ関係科目：スポーツを通して健全な身体と体力、精神力を養うための科目
 - ④ 就職準備科目：就職への意識高揚と社会に出て役立つ知識を習得するための科目

(2) 学部共通

リメディアル教育科目（注）：基礎知識向上のための補講科目

※成績評価（「秀」評価を除く）されるが、卒業要件単位及びGPAには含まれません。

3 外国語科目

- (1) 全学共通
基礎英語科目：全学的な英語力の向上のための科目
- (2) 学部共通
 - ① 実用英語科目：全学的な英語力の応用力・実践力を身につけるための科目
 - ② 初修外国語科目：外国の情報・文化の吸収及び情報発信を行う能力を養成するための科目

4 専門教育科目

- (1) 学科基礎科目
 - ① 人間関係科目：社会道徳と倫理観を涵養するための科目
 - ② 社会関係科目：社会の仕組みの基礎知識を得るための科目
 - ③ 自然関係科目：自然科学についての幅広い視野と探究心を養うための科目
- (2) 学科専門科目
 - ① 専門共通科目：農学及び各学部の基礎概念、知識を総合的に把握するための科目
 - ② 創生型科目：分野横断包括型の教育プログラムなど農学的知識と経験を応用し、グループで課題に取り組む科目
 - ③ 専門基礎科目：専門を理解するための基礎となる科目
 - ④ 専門コア科目：学生が主体的に専門の課題を探究し、解決する能力と知識を養成するための科目
 - ⑤ 学際領域科目：学生の興味と複数学科の教育目標に対応する科目
 - ⑥ 総合化科目：卒業論文、総合演習など

5 オープン開講方式による授業科目

- (1) 英語による専門プログラム
- (2) 日本語科目

6 資格取得に関する授業科目

- (1) 教職課程科目：教職免許状を取得するために教育職員免許法に基づいて設けられた科目
- (2) 学術情報課程科目：司書資格、学芸員資格を取得するための科目

単 位 制

大学における単位制とは、授業科目を履修し、その授業科目に与えられた単位を試験等に合格することによって修得する制度です。卒業までに定められた単位数を修得しなければなりません。

各授業科目の単位数は、授業の方法に応じて異なり、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して次の基準により定められています。

[単位計算基準]

区 分	単位数	授 業 時 間
講義・演習（外国語を含む）	2単位	2時間（週1コマ）×15週（半期）
実験・実習・研修・スポーツレクリエーション	1単位	2時間（週1コマ）×15週（半期）

※1時限（1コマ＝2時間）は90分授業で実施します。

授 業

1 学期制（セメスター制）

本学では1年間を前学期と後学期の2学期に分け、それぞれの学期の中で各学期配当科目の授業・試験・成績評価を行います。したがって各学期の最終評価が不合格となった科目を履修する場合は、翌年度に再度履修し、授業を受講することになります。

2 授業時間

本学の授業は、90分を1時限として行います。なお、授業の時間区分は次のとおりです。

時限	1時限	2時限	昼休み	3時限	4時限	5時限	6時限
時間 (90分間)	9:00 } 10:30	10:40 } 12:10	12:10 } 13:00	13:00 } 14:30	14:40 } 16:10	16:20 } 17:50	18:00 } 19:30

※短期間に行う集中授業及び隔週で行う授業もあります。

3 出席の重要性

授業は、教員と学生が直接人間的なふれあいを通して学問する場であり、学生生活の基本となるものです。また、単位制の基本となる授業時間について定めがあるように、出席状況は成績評価の重要な要素になります。なお、授業を3分の1以上欠席した場合は、定期試験等を受験しても単位を修得できない場合があります。

4 欠席届

授業をやむを得ない事由で欠席する場合または欠席した場合は、学生教務課窓口においてある「欠席届」に必要事項を記入の上、授業担当者に直接提出してください。ただし、欠席事由に問わず、授業科目の出席及び成績評価等に関する取扱いについては、授業担当者の判断となります。

なお、学校保健安全法に規定された感染症による欠席届は、専用の様式があります。詳細は、p.48の「健康管理」を参照してください。

定期試験の欠席についてはp.107を参照してください。

5 休講

休講情報は、学生ポータルサイト・掲示板により伝達します。休講の連絡がなく、30分経過しても授業が開始されない場合は、関係窓口で確認してください。

6 緊急時における授業の休講措置

ストライキ、天災（台風、地震、大雪等）、事故等により交通機関が不通の場合、気象庁から暴風等の警報又は特別警報が発令された場合及び大規模地震の警戒宣言が発令された場合は、休講措置を講じます。詳細については、学生ポータルサイト（学生生活ハンドブック－緊急時における授業の休講措置）で確認してください。

7 補講

授業時間数がやむを得ない事情により不足した場合には、補講授業を実施することがあります。この場合、授業担当者が指示するほか、学生ポータルサイト・掲示により伝達します。

8 学生による授業評価

本学では授業を改善するために、「学生による授業評価」を実施しています。より良い授業を行うことは授業担当者の責務ですが、内容がきちんと受講生に伝わっているか、理解されているか、あるいは「わかりやすいか」を把握（測定）するためには授業評価を実施して受講生の声を集める必要があります。また、大学全体の授業と比較して自分の授業がどうであるかを把握するためにも授業評価は有効です。より良い授業は、授業担当者と受講生が協力して創り上げるものであるため、授業評価の実施に協力してください。

履 修

1 履修とは

毎年度はじめに1年間の受講科目を各自が決定し、実際の授業に出席する一連の流れをいいます。

2 履修科目決定までの流れ

(1) 履修計画

履修登録を行うにあたって、1年間の履修計画を立てなければなりません。次の点を考慮し計画してください。

- ① 各学科の「授業科目配当表」（※後掲）、「講義要項（シラバス）」（※別冊）を熟読し、カリキュラムの概要を把握してください。
- ② **必修科目**は、決められた年次・学期に履修してください。
- ③ **選択必修科目**は、指定された科目の中から、決められた単位を満たすように履修してください。
- ④ **選択科目**は、将来志向や資格取得などを考え、卒業要件を満たすように履修してください。
- ⑤ 進級基準及び卒業基準を超えるように、履修計画を立ててください。

(2) 履修登録

履修登録とは、各自が受講しようとする授業科目について、その意思表示をすることです。また、履修登録は1年間あるいは各学期の履修計画を決める上で最も重要な手続きであり、単位の修得及び卒業には欠かすことのできないものです。履修登録を安易に考え、手続きを怠ったことにより無駄な時間を過ごしてしまうことになりかねません。各自の履修計画を円滑に進めるために細心の注意を払って履修登録してください。

なお、履修登録の詳細は「履修のてびき」（別冊）に記載してあります。これを参照し履修登録してください。

(3) 履修の確定

5月中に「履修確定表（あなたの履修）」を学生ポータルサイトに開示します。この表に記載されている授業科目が当該年度の登録された科目です。登録されていない科目がある場合は、履修修正期間内に手続きしてください。

※後学期配当科目については、後学期授業開始後に登録の変更を認めます。

詳細については「履修のてびき」で確認してください。

3 履修上の注意事項 [取決め事項]

(1) 履修登録単位数の制限について

単位を得るためには、定められた時間の学修が必要です。例えば、講義科目の場合、2単位を修得するためには、90時間の学修が必要であり、1回の授業において2時間（2時間×15週間＝30時間）学び、1週間に4時間（4時間×15週間＝60時間）の予習・復習を行うことにより、単位が与えられます。このように履修登録単位数と学修時間は連動しており、登録する単位数が多ければ1週間に学修する時間は比例して増加することになります。

本学では履修登録を行うにあたって、次のように登録できる単位数を制限しています。1週間に学修できる時間数を考えて履修登録してください。また、教職課程科目、学術情報課程科目及びリメディアル科目については、この履修登録単位数の制限から除外します。

1年間に履修登録できる単位数の上限……44単位

各学期に履修登録できる単位数の上限……22単位

例えば前学期に22単位登録した場合には、後学期に登録できる単位数は22単位になります。

※履修登録できる単位数とは、あくまでも登録した科目の総単位数であり、修得できた総単位数ではありませんので、注意してください。

(2) 他学部聴講・他学科聴講について（詳細は「履修のてびき」を参照）

他学部聴講とは他の学部で開講している講義科目を履修すること、他学科聴講とは所属学部内の他の学科の講義科目を履修することです。

- ・在学中に履修できる単位は合計30単位までです（可否に関わらず、履修した時点で単位数をカウントします）。
- ・修得した単位は、他学部聴講・他学科聴講・英語による専門プログラム・日本語科目を合わせて30単位まで、卒業要件単位に加えることができます。
- ・実験・実習・演習科目等は、履修できません。
- ・他学部聴講・他学科聴講は、上級学年配当の科目は、履修できません。

(3) 大学間の協定による授業科目の履修について（詳細は「履修のてびき」を参照）

東京情報大学との間で協定を締結しており、東京情報大学の授業科目を履修することができます。

この科目は、履修登録単位数の制限には入りません。

試 験

授業科目の履修状況を評価し、単位を認定するために試験を行います。授業科目によっては、レポートに代える場合があります。授業に出席し授業担当者の指示に従ってください。

受 験 資 格

- (1) 当該授業科目が履修登録されていること
 - (2) 当該授業担当者の定める出席日数を満たしていること（原則として授業日数の2/3以上）
 - (3) 当該学期までの学費その他の納付金を納入していること
- ※休学期間中に試験を受けることはできない

1 定期試験

一定の期間内に時間割を決めて各学期に実施する試験です。定期試験を実施する授業科目及びその時間割は、試験開始1週間前に掲示板・学生ポータルサイトで発表します（実験・実習・演習科目は、原則として「定期試験」を実施しません）。

なお、定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により欠席した場合は、指定された期日（試験時間割発表時に掲示）までに欠席の事由（当日の状況など）を証明する書類を持参して試験欠席の手続きを行ってください。この届出により、追試験の受験を認めます。欠席事由と添付提出書類は次のとおりです。

欠 席 事 由	提 出 書 類
病気	医師の診断書（試験当日の健康状態を記載のものに限る） または病院の領収書（日付及び氏名が記載されたもの） ※学校保健安全法に規定された感染症は、専用の様式があるため、 p.48の「健康管理」を参照してください。
交通機関の遅延	交通機関発行の遅延証明書
忌引（三親等までの親族の死亡）	死亡に関する書類（会葬通知等）
就職試験等	欠席の事由を証明する書類（企業からの文書、メールのプリントアウト等） に、キャリア課が証明したもの ※原則として最終選考（役員面接等）を対象とする。証明が受けられない場合がある ので、必ず試験前に担当課にて確認すること。企業説明会は認めない。
災害（水害・火災等）	官公庁による被災証明書

2 追試験

定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により受験できなかった者のうち、指定された期日までに試験欠席届を提出した者に対して各学期末に行う試験です（無料）。従って、本人の不注意による試験の欠席および証明する書類がない場合は、追試験の対象となりません。

※追試験を欠席した場合の再度の試験は行いません。

3 定期試験に関する注意事項

- 試験時間は45分間です。通常の授業時間とは異なるので注意してください。
- 学生証を所持していない学生は受験できません。なお、当日忘れた場合は、学生教務課にて仮学生証の発行を受けてください（有料・当日限り有効）。
- 受験科目が重複した場合は、事前に申し出てください。
- 試験場への入場は、試験開始後20分までとします（試験開始後は、退場できません）。
- 試験場あるいは受験科目・授業担当者との間違い、無記名答案は受験しても無効となります。
- 答案は白紙であっても必ず提出してください。
- 試験場においては、すべて監督者の指示に従わなければなりません。
- その他試験に関しては、関係窓口へ問い合わせてください。

[試験時間]

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
時間	9:00) 9:45	10:00) 10:45	11:00) 11:45	12:00) 12:45	13:00) 13:45	14:00) 14:45

時限	7時限	8時限	9時限	10時限	11時限
時間	15:00) 15:45	16:00) 16:45	17:00) 17:45	18:00) 18:45	19:00) 19:45

4 不正行為について

不正行為（カンニング等）が発覚した場合は、当該学期の評価をすべて無効（未評価）とします。

5 試験に代えて行うレポート提出時の注意事項

<レポート表紙の様式>

A4サイズ

科目名： _____ 担当者： _____	
<課題>	

学科： _____	学年： _____ 学籍番号： _____
氏名： _____	

レポートの提出は、担当教員が授業中に提出を求める場合、担当教員が締切期日を指定して研究室等で受け付ける場合、窓口で受け付ける場合等があります。

いずれの場合も**提出締切期限厳守**となっていますので注意してください。レポートの提出に際しては、原則として次の注意事項に従ってください。

- 表紙を含めサイズは、授業担当者の指示がない限りA4にしてください。
- 必要事項（科目名・担当者・課題・学科・学年・学籍番号・氏名）をみれなく記載してください。
- 原則として左上角をホッチキスで必ず止めてください。ただし、授業担当者の指示がある場合はそれに従ってください。
- 定められた場所に提出してください。
- 提出期限は厳守してください。
- 表紙のないレポートや、記載内容に不備があるレポートは、無効になる場合があります。

成績

1 成績評価

成績評価は、「秀」・「優」・「良」・「可」が合格で、「不可」・「未評価」は不合格です。成績評価の基準は、次の通りです。

成績評価基準のガイドライン

判定	成績	表示	成績評価基準	GP	成績評価内容
合格	秀	S	100～90点	4.0	特に優れた成績（履修者の5%以内）
	優	A	89～80点	3.0	優れた成績
	良	B	79～70点	2.0	妥当と認められる成績
	可	C	69～60点	1.0	合格と認められる成績
不合格	不可	D	59点以下	0	合格と認められる成績に達していない
	未評価	F	—	0	評価に値しない

2 GPA（グレード・ポイント・アベレージ）

(1) GPA

自らの学業成績の状況を的確に把握して、適切な履修計画とそれに基づく学習に役立てるため、GPAを算出しています。

(2) GPA対象科目

GPAの対象科目は、①「卒業要件に算入できる科目」であって、かつ②「5段階評価によって成績を認定する科目」とし、③「学生が履修登録した科目」とします。したがって、他学科・他学部聴講科目などは含め、教職・学術情報課程及び認定科目は除かれます。

(3) GPAの算出

[学期ごとのGPAの算出方法]

学期ごとのGPA算出は、次の式によります。

$$\frac{\text{（当該学期で履修登録したGPA対象科目のGP} \times \text{その科目の単位数）の合計}}{\text{当該学期で履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注1. GPA対象科目で不可（D）及び未評価（F）科目は、分母に含みます。

注2. 通年科目は後学期に含めGPAを算出します。

注3. 「不可」・「未評価」となった科目を再履修した場合は、再履修した当該学期の対象科目に含め、GPAを算出します。

注4. 前項の場合、「不可」・「未評価」となった学期のGPAは変更しません。

[通算GPAの算出方法]

通算GPAは、在学中に履修登録したすべてのGPA対象科目に基づくもので、その算出は次の式によります。

$$\frac{\text{(在学中に履修登録したGPA対象科目の最新GP} \times \text{その科目の単位数) の合計}}{\text{在学中に履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注1. 通算GPAは毎学期末に算出します。

注2. 再履修した場合は1科目としてカウントします（ダブルカウントしない）。

注3. 再履修した科目のGPは、最新の評価に基づく値で算出します。

3 履修成績表

各学期に履修した授業科目の成績は、次の学期の授業開始前に履修成績表として学生ポータルサイトにて開示します。

4 成績証明書

成績証明書には、「秀」・「優」・「良」・「可」の合格した授業科目（科目名・単位数・評価）と通算GPAを記載し、不合格の授業科目は記載しません。

5 成績相談

学期毎の成績発表後に実施します。詳細は「履修のてびき」で確認してください。

進 級

1 1年次から2年次への進級判定（休学者を除く）

1年次終了時に卒業要件に関わる修得単位数が20単位未満の場合に行います（学則第35条第1項第2号に該当するものとみなして退学を命ずることがあります）。

2 2年次から3年次への進級基準（休学者を除く）

2年次終了時に、卒業要件に関わる修得単位数が50単位未満の場合には、3年次への進級を認めません（原級または学則第35条第1項第2号に該当する退学となります）。

3 3年次から4年次への進級基準（休学者を除く）

3年次終了時に、卒業要件に関わる修得単位数が90単位未満の場合には、4年次への進級を認めません（原級または学則第35条第1項第2号に該当する退学となります）。

4 進級者の発表

年度末（3月中旬）に進級確定者を掲示板で発表します。

在 学 期 間

本学に在学できる期間は、休学期間を除いて8年です。

卒業・学位記

1 卒業要件

卒業に必要な単位数は「124単位」です。

[学部・学科別卒業要件単位数]

学部名	学 科 名	必修科目	選択必修科目	選択科目	合 計
農 学 部	農学科	68	12	44	124
	動物科学科	76	12	36	124
	生物資源開発学科	68	12	44	124
	デザイン農学科	70	12	42	124

※詳細は各学科の授業科目配当表を参照のこと。

2 学位記

卒業生には、次のとおり学士の学位を授与します。また卒業時に学位記を授与します。

学 部	学 科	学 位
農 学 部	全 学 科	学 士 (農 学)

3 9月卒業

次の各項目をすべて満たす場合は、9月30日付で卒業することができます。

- ・ 9月30日までに卒業要件単位を満たしていること（9月30日までに卒業論文の評価が合格になった場合を含む）。
- ・ 9月30日で4年間在学していること。
- ・ 4年次を通算で1年間以上在籍していること。
- ・ 該当学生が9月卒業を希望していること。

その他

1 学生への連絡と掲示

学生への通知や連絡は、学生ポータルサイト・掲示によって行います。休講、補講、教室変更、時間変更、書類不備の呼出し等を掲示しますので、必ず毎日学生ポータルサイトを見る習慣をつけてください。

※電話による問い合わせ（行事予定・試験・休講等）は、受け付けていません。学生ポータルサイトで確認するか、関係窓口へ直接問い合わせてください。

2 窓口での相談・質問等

履修に関する相談、試験に関する質問、レポートの提出、呼び出し応答など修学に必要な事項の相談・質問は、窓口へ申し出てください。

なお、提出期限のある手続きは、受付期間・時間を厳守してください（期限に遅れた場合は受け付けません）。

窓口受付時間

〔平日〕厚木キャンパス 8:30～17:00

※時間外は受け付けません。

世田谷キャンパス

■応用生物科学部

■生命科学部

■地域環境科学部

■国際食料情報学部

授業科目の概要

授業科目は、本学の教育目標を達成するために、次のように分けられ各年次に配当されています。

1 科目の区分

- (1) 必修科目：必ず修得しなければならない科目
- (2) 選択必修科目：限定された科目群の中から、指定された単位数を修得しなければならない科目
- (3) 選択科目：学生の意思により選択し、卒業要件単位数以上を修得しなければならない科目

2 総合教育科目

- (1) 全学共通科目
 - ① 導入科目：大学での学修と学生生活のための基礎的技能を涵養するための科目
 - ② スポーツ関係科目：スポーツを通して健全な身体と体力、精神力を養うための科目
 - ③ 課題別科目：農学を多角的視点から理解する学科横断的な科目
 - ④ 就職準備科目：就職への意識高揚と社会に出て役立つ知識を習得するための科目
- (2) 学部共通科目
 - ① リメディアル教育科目（※）：基礎知識向上のための補講科目
※成績評価（「秀」評価を除く）されるが、卒業要件単位及びGPAには含まれません。

3 外国語科目

- (1) 全学共通科目
 - ① 基盤英語科目：全学的な英語力の向上のための科目
- (2) 学部共通科目
 - ① 実用英語科目：全学的な英語力の応用力、実践力を身につけるための科目
 - ② 初修外国語科目：外国の情報・文化の吸収及び情報発信を行う能力を養成するための科目

4 専門教育科目

- (1) 学科基礎科目
 - ① 人間関係科目：社会道徳と倫理観を涵養するための科目
 - ② 社会関係科目：社会の仕組みの基礎知識を得るための科目
 - ③ 自然関係科目：自然科学についての幅広い視野と探究心を養うための科目
- (2) 学科専門科目
 - ① 専門共通科目：農学及び各学部の基礎概念、知識を総合的に把握するための科目
 - ② 創生型科目：分野横断包括型の教育プログラムなど農学的知識と経験を応用し、グループで課題に取り組む科目
 - ③ 専門基礎科目：専門を理解するための基礎となる科目
 - ④ 専門コア科目：学生が主体的に専門の課題を探究し、解決する能力と知識を養成するための科目
 - ⑤ 専門実用科目：教職免許状を取得するために教育職員免許法に基づいて設けられた科目（教職課程履修者のみ履修することができる。ただし、学科の卒業要件に含まれないので注意すること。）
 - ⑥ 学際領域科目：専門の理解を深め、課題の探究とその解決に役立つ幅広い知識を得るための科目
 - ⑦ 総合化科目：卒業論文、総合演習など

5 オープン開講方式による授業科目

- (1) 英語による専門プログラム
- (2) 日本語科目

6 資格取得に関する授業科目

- (1) 教職課程科目：教職免許状を取得するために教育職員免許法に基づいて設けられた科目
- (2) 学術情報課程科目：司書資格、学芸員資格を取得するための科目

単位制

大学における単位制とは、授業科目を履修し、その授業科目に与えられた単位を試験等に合格することによって修得する制度です。卒業までに定められた単位数を修得しなければなりません。

各授業科目の単位数は、授業の方法に応じて異なり、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して次の基準により定められています。

[単位計算基準]

区 分	単位数	授 業 時 間
講義・演習（外国語を含む）	2 単位	2 時間（週 1 コマ）× 15 週（半期）
実験・実習・研修・スポーツレクリエーション	1 単位	2 時間（週 1 コマ）× 15 週（半期）

※ 1 時限（1 コマ = 2 時間）は 90 分授業で実施します。

授 業

1 学期制（セメスター制）

本学では 1 年間で前学期と後学期の 2 学期に分け、それぞれの学期の中で各学期配当科目の授業・試験・成績評価を行います。したがって各学期の最終評価が不合格となった科目を履修する場合は、翌年度に再度履修し、授業を受講することになります。

2 授業時間

本学の授業は、90 分を 1 時限として行います。なお、授業の時間区分は次のとおりです。

時限	1 時限	2 時限	昼休み	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
時間 (90分間)	9 : 00 } / 10 : 30	10 : 40 } / 12 : 10	12 : 10 } / 13 : 00	13 : 00 } / 14 : 30	14 : 40 } / 16 : 10	16 : 20 } / 17 : 50	18 : 00 } / 19 : 30

※ 短期間に行う集中授業及び隔週で行う授業もあります。

3 出席の重要性

授業は、教員と学生が直接人間的なふれあいを通して学問する場であり、学生生活の基本となるものです。また、単位制の基本となる授業時間について定めがあるように、出席状況は成績評価の重要な要素になります。なお、授業を 3 分の 1 以上欠席した場合は、定期試験等を受験しても単位を修得できない場合があります。

4 欠席届

授業をやむを得ない事由で欠席する場合または欠席した場合は、教務課窓口においてある「欠席届」に必要事項を記入の上、授業担当者に直接提出してください。ただし、欠席事由に関わらず、授業科目の出席及び成績評価等に関する取扱いについては、授業担当者の判断となります。

なお、学校保健安全法に規定された感染症による欠席届は、専用の様式があります。詳細は、p.48の「健康管理」を参照してください。

定期試験の欠席についてはp.119を参照してください。

5 休講

休講情報は、学生ポータルサイト・掲示版により伝達します。休講の連絡がなく、30分経過しても授業が開始されない場合は、教務課で確認してください。

6 緊急時における授業の休講措置

ストライキ、天災（台風、地震、大雪等）、事故等により交通機関が不通の場合、気象庁から暴風等の警報又は

特別警報が発令された場合及び大規模地震の警戒宣言が発令された場合は、休講措置を講じます。詳細については、学生ポータルサイト（学生生活ハンドブック－緊急時における授業の休講措置）で確認してください。

7 補講

授業時間数がやむを得ない事情により不足した場合には、補講授業を実施することがあります。この場合、授業担当者が指示するほか、学生ポータルサイト・掲示により伝達します。

8 学生による授業評価

本学では授業を改善するために、「学生による授業評価」を実施しています。より良い授業を行うことは授業担当者の責務ですが、内容がきちんと受講生に伝わっているか、理解されているか、あるいは「わかりやすいか」を把握（測定）するためには授業評価を実施して受講生の声を集める必要があります。また、大学全体の授業と比較して自分の授業がどうであるかを把握するためにも授業評価は有効です。より良い授業は、授業担当者と受講生が協力して創り上げるものであるため、授業評価の実施に協力してください。

履 修

1 履修とは

毎年度はじめに1年間の受講科目を各自が決定し、実際の授業に出席する一連の流れをいいます。

2 履修科目決定までの流れ

(1) 履修計画

履修登録を行うにあたって、1年間の履修計画を立てなければなりません。次の点を考慮し計画してください。

- ① 各学科の「授業科目配当表」（※後掲）、「講義要項（シラバス）」（※別冊）を熟読し、カリキュラムの概要を把握してください。
- ② **必修科目**は、決められた年次・学期に履修してください。
- ③ **選択必修科目**は、指定された科目の中から、決められた単位を満たすように履修してください。
- ④ **選択科目**は、将来志向や資格取得などを考え、卒業要件を満たすように履修してください。
- ⑤ 進級基準及び卒業基準を超えるように、履修計画を立ててください。

(2) 履修登録

履修登録とは、各自が受講しようとする授業科目について、その意思表示をすることです。また、履修登録は1年間あるいは各学期の履修計画を決める上で最も重要な手続きであり、単位の修得及び卒業には欠かすことのできないものです。履修登録を安易に考え、手続きを怠ったことにより無駄な時間を過ごしてしまうことになりかねません。各自の履修計画を円滑に進めるために細心の注意を払って履修登録してください。

なお、履修登録の詳細は「履修のてびき」（別冊）に記載してあります。これを参照し履修登録してください。

(3) 履修の確定

5月中に「あなたの履修」を学生ポータルサイトに開示します。この表に記載されている授業科目が当該年度の登録された科目です。登録されていない科目がある場合は、履修修正期間内に手続きしてください。

※後学期配当科目については、後学期授業開始後に登録の変更を認めます。

詳細については「履修のてびき」で確認してください。

3 履修上の注意事項 [取決め事項]

(1) 履修登録単位数の制限について

単位を得るためには、定められた時間の学修が必要です。例えば、講義科目の場合、2単位を修得するためには、90時間の学修が必要であり、1回の授業において2時間（2時間×15週間＝30時間）学び、1週間に4時間（4時間×15週間＝60時間）の予習・復習を行うことにより、単位が与えられます。このように履修登録単位数と学修時間は連動しており、登録する単位数が多ければ1週間に学修する時間は比例して増加することになります。

本学では履修登録を行うにあたって、次のように登録できる単位数を制限しています。1週間に学修できる時間数を考えて履修登録してください。また、教職課程科目、学術情報課程科目及びリメディアル科目については、この履修登録単位数の制限から除外します。

1年間に履修登録できる単位数の上限……44単位（栄養：49単位）

各学期に履修登録できる単位数の上限……22単位（栄養：25単位）

※履修登録できる単位数とは、あくまでも登録した科目の総単位数であり、修得できた総単位数ではありませんので、注意してください。

(2) 他学部聴講・他学科聴講について（詳細は「履修のてびき」を参照）

他学部聴講とは他の学部で開講している講義科目を履修すること、他学科聴講とは所属学部内の他の学科の講義科目を履修することです。

- ・実験・実習・演習科目等は、履修できません。
- ・他学部聴講・他学科聴講は、上級学年配当の科目は、履修できません。
- ・在学中に履修できる単位は合計16単位まで（栄養は合計30単位まで）です。可否に関わらず、履修した時点で単位数をカウントします。
- ・修得した単位は、総合教育科目・外国語科目・専門教育科目の選択科目として卒業要件単位に含めることができます。ただし、下記表のとおり、学科毎に卒業要件単位に含まれる単位の上限が異なるため注意すること。

学部名	学 科 名	総合教育科目・外国語科目・専門教育科目の選択科目 【※卒業要件に含まれる上限単位数】
応用生物科学部	農芸化学科	21 単位
	醸造科学科	15 単位
	食品安全健康学科	21 単位
	栄養科学科	29 単位
生命科学部	バイオサイエンス学科	14 単位
	分子生命化学科	12 単位
	分子微生物学科	27 単位
地域環境科学部	森林総合科学科	22 単位
	生産環境工学科	22 単位
	造園科学科	21 単位
	地域創生科学科	13 単位
国際食料情報学部	国際農業開発学科	27 単位
	食料環境経済学科	17 単位
	国際バイオビジネス学科	30 単位
	国際食農科学科	10 単位

(3) 大学間の協定による授業科目の履修について（詳細は「履修のてびき」を参照）

東京情報大学との間で協定を締結しており、東京情報大学の授業科目を履修することができます。

この科目は、履修登録単位数の制限には入りません。

試 験

授業科目の履修状況を評価し、単位を認定するために試験を行います。授業科目によっては、レポートに代える場合があります。授業に出席し授業担当者の指示に従ってください。

受 験 資 格

- (1) 当該授業科目が履修登録されていること
 - (2) 当該授業担当者の定める出席日数を満たしていること（原則として授業日数の2/3以上）
 - (3) 当該学期までの学費その他の納付金を納入していること
- ※休学期間中に試験を受けることはできない

1 定期試験

一定の期間内に時間割を決めて各学期に実施する試験です。定期試験を実施する授業科目及びその時間割は、試験開始1週間前に掲示板・学生ポータルサイトで発表します（実験・実習・演習科目は、原則として「定期試験」を実施しません）。

なお、定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により欠席した場合は、指定された期日（試験時間割発表時に掲示）までに欠席の事由（当日の状況など）を証明する書類を持参して試験欠席の手続きを行ってください。この届出により、追試験の受験を認めます。欠席事由と添付提出書類は次のとおりです。

欠 席 事 由	提 出 書 類
病気	医師の診断書（試験当日の健康状態を記載のものに限る） または病院の領収書（日付及び氏名が記載されたもの） ※学校保健安全法に規定された感染症は、専用の様式があるため、 p.48の「健康管理」を参照してください。
交通機関の遅延	交通機関発行の遅延証明書
忌引（三親等までの親族の死亡）	死亡に関する書類（会葬通知等）
就職試験等	欠席の事由を証明する書類（企業からの文書、メールのプリントアウト等） に、キャリアセンターが証明したもの ※原則として最終選考（役員面接等）を対象とする。証明が受けられない場合がある ので、必ず試験前に担当課にて確認すること。企業説明会は認めない。
災害（水害・火災等）	官公庁による被災証明書

2 追試験

定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により受験できなかった者のうち、指定された期日までに試験欠席届を提出した者に対して各学期末に行う試験です（無料）。従って、本人の不注意による試験の欠席および証明する書類がない場合は、追試験の対象となりません。

※追試験を欠席した場合の再度の試験は行いません。

3 定期試験に関する注意事項

- 試験時間は45分間です。通常の授業時間とは異なるので注意してください。
- 学生証を所持していない学生は受験できません。なお、当日忘れた場合は、学生課（厚木キャンパスは学生教務課）にて仮学生証の発行を受けてください（有料・当日限り有効）。
- 受験科目が重複した場合は、事前に申し出てください。
- 試験場への入場は、試験開始後20分までとします（試験開始後は、退場できません）。
- 試験場あるいは受験科目・授業担当者との間違い、無記名答案は受験しても無効となります。
- 答案は白紙であっても必ず提出してください。
- 試験場においては、すべて監督者の指示に従わなければなりません。
- その他試験に関しては、関係窓口へ問い合わせてください。

[試験時間]

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
時間	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00
	9:45	10:45	11:45	12:45	13:45	14:45

時限	7時限	8時限	9時限	10時限	11時限
時間	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
	15:45	16:45	17:45	18:45	19:45

4 不正行為について

不正行為（カンニング等）が発覚した場合は、当該学期の評価をすべて無効（未評価）とします。

5 試験に代えて行うレポート提出時の注意事項

レポートの提出は、担当教員が授業中に提出を求める場合、担当教員が締切期日を指定して研究室等で受け付ける場合、窓口で受け付ける場合等があります。

<レポート表紙の様式>

A4サイズ

/ 科目名： _____ 担当者： _____	
<課題> _____ _____	
学科： _____ 学年： _____ 学籍番号： _____	
氏名： _____	

いずれの場合も**提出締切期限厳守**となっていますので注意してください。レポートの提出に際しては、原則として次の注意事項に従ってください。

- 表紙を含めサイズは、授業担当者の指示がない限りA4にしてください。
- 必要事項（科目名・担当者・課題・学科・学年・学籍番号・氏名）をもれなく記載してください。
- 原則として左上角をホッチキスで必ず止めてください。ただし、授業担当者の指示がある場合はそれに従ってください。
- 定められた場所に提出してください。
- 提出期限は厳守してください。
- 表紙のないレポートや、記載内容に不備があるレポートは、無効になる場合があります。

成績

1 成績評価

成績評価は、「秀」・「優」・「良」・「可」が合格で、「不可」・「未評価」は不合格です。成績評価の基準は、次の通りです。

成績評価基準のガイドライン

判定	成績	表示	成績評価基準	GP	成績評価内容
合格	秀	S	100～90点	4.0	特に優れた成績（履修者の5%以内）
	優	A	89～80点	3.0	優れた成績
	良	B	79～70点	2.0	妥当と認められる成績
	可	C	69～60点	1.0	合格と認められる成績
不合格	不可	D	59点以下	0	合格と認められる成績に達していない
	未評価	F	—	0	評価に値しない

※成績評価基準は、全体の得点を鑑みて評価を調整することがあります。

2 GPA（グレード・ポイント・アベレージ）

(1) GPA

自らの学業成績の状況を的確に把握して、適切な履修計画とそれに基づく学習に役立てるため、GPAを算出しています。

(2) GPA対象科目

GPAの対象科目は、①「卒業要件に算入できる科目」であって、かつ②「5段階評価によって成績を認定する科目」とし、③「学生が履修登録した科目」とします。したがって、他学科・他学部聴講科目などは含め、教職・学術情報課程及び認定科目は除かれます。

(3) GPAの算出

[学期ごとのGPAの算出方法]

学期ごとのGPA算出は、次の式によります。

$$\frac{\text{（当該学期で履修登録したGPA対象科目のGP} \times \text{その科目の単位数）の合計}}{\text{当該学期で履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注1. GPA対象科目で不可（D）及び未評価（F）科目は、分母に含まれます。

注2. 通年科目は後学期に含めGPAを算出します。

注3. 「不可」・「未評価」となった科目を再履修した場合は、再履修した当該学期の対象科目に含め、GPAを算出します。

注4. 前項の場合、「不可」・「未評価」となった学期のGPAは変更しません。

[通算GPAの算出方法]

通算GPAは、在学中に履修登録したすべてのGPA対象科目に基づくもので、その算出は次の式によります。

$$\frac{\text{（在学中に履修登録したGPA対象科目の最新GP} \times \text{その科目の単位数）の合計}}{\text{在学中に履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注1. 通算GPAは毎学期末に算出します。

注2. 再履修した場合は1科目としてカウントします（ダブルカウントしない）。

注3. 再履修した科目のGPは、最新の評価に基づく値で算出します。

3 履修成績表

各学期に履修した授業科目の成績は、次の学期の授業開始前に履修成績表として学生ポータルサイトにて開示します。

4 成績証明書

成績証明書には、「秀」・「優」・「良」・「可」の合格した授業科目（科目名・単位数・評価）と通算GPAを記載し、不合格の授業科目は記載しません。

5 成績相談

学期毎の成績発表後に実施します。詳細は「履修のてびき」で確認してください。

進 級

1 1年次から2年次への進級判定（休学者を除く）

1年次終了時に卒業要件に関わる修得単位数が20単位未満の場合に行います（学則第35条第1項第2号に該当するものとみなして退学を命ずることがあります）。

2 2年次から3年次への進級基準（休学者を除く）

2年次終了時に、卒業要件に関わる修得単位数が50単位未満の場合には、3年次への進級を認めません（原級または学則第35条第1項第2号に該当する退学となります）。

3 3年次から4年次への進級基準（休学者を除く）

3年次終了時に、卒業要件に関わる修得単位数が90単位未満の場合には、4年次への進級を認めません（原級または学則第35条第1項第2号に該当する退学となります）。

4 進級者の発表

年度末（3月中旬）に進級確定者を掲示板で発表します。

在 学 期 間

本学に在学できる期間は、休学期間を除いて8年です。

卒 業 ・ 学 位 記

1 卒業要件

卒業に必要な単位数は「124単位」です。

[学部・学科別卒業要件単位数]

学部名	学 科 名	総合教育科目	外国語科目		専門教育科目			総合教育科目・ 外国語科目・ 専門教育科目 の選択科目	合 計
		必修 科目	必修 科目	選択必 修科目	必修 科目	選択必 修科目	選択 科目		
応用生物科学部	農芸化学科	7	8	0	72	14	2	21	124
	醸造科学科	7	8	0	84	8	2	15	124
	食品安全健康学科	7	8	0	76	10	0	23	124
	栄養科学科	7	8	0	72	8	0	29	124
生命科学部	バイオサイエンス学科	7	8	0	81	12	2	14	124
	分子生命化学科	7	8	0	87	6	4	12	124
	分子微生物学科	7	8	0	72	6	4	27	124
地域環境科学部	森林総合科学科	7	8	0	45	12	30	22	124
	生産環境工学科	7	8	0	55	12	20	22	124
	造園科学科	7	8	0	62	20	6	21	124
	地域創成科学科	7	8	0	68	12	16	13	124
国際食料情報学部	国際農業開発学科	7	8	4	46	12	20	27	124
	食料環境経済学科	7	8	4	32	32	24	17	124
	国際バイオビジネス学科	7	8	4	49	16	10	30	124
	国際食農科学科	7	8	4	71	12	12	10	124

※詳細は各学科の授業科目配当表を参照のこと。

2 学位記

卒業生には、次のとおり学士の学位を授与します。また卒業時に学位記を授与します。

学 部	学 科	学 位
応用生物科学部	全 学 科	学 士 (応用生物科学)
生命科学部	全 学 科	学 士 (農 学)
地域環境科学部	森 林 総 合 科 学 科 生 産 環 境 工 学 科 造 園 科 学 科	学 士 (地域環境科学)
	地 域 創 成 科 学 科	学 士 (農 学)
国際食料情報学部	国 際 農 業 開 発 学 科 食 料 環 境 経 済 学 科 国 際 バイオビジネス学科	学 士 (国際食料情報学)
	国 際 食 農 科 学 科	学 士 (農 学)

3 9月卒業

次の各項目をすべて満たす場合は、9月30日付で卒業することができます。

- ・ 9月30日までに卒業要件単位を満たしていること（9月30日までに卒業論文の評価が合格になった場合を含む）。
- ・ 9月30日で4年間在学していること。
- ・ 4年次を通算で1年間以上在籍していること。
- ・ 該当学生が9月卒業を希望していること。

そ の 他

1 学生への連絡と掲示

学生への通知や連絡は、学生ポータルサイト・掲示によって行います。休講、補講、教室変更、時間変更、書類不備の呼出し等を掲示しますので、必ず毎日学生ポータルサイトを見る習慣をつけてください。

※電話による問い合わせ（行事予定・試験・休講等）は、受け付けていません。学生ポータルサイトで確認するか、関係窓口へ直接問い合わせてください。

2 窓口での相談・質問等

履修に関する相談、試験に関する質問、レポートの提出、呼び出し応答など修学に必要な事項の相談・質問は、窓口へ申し出てください。

なお、提出期限のある手続きは、受付期間・時間を厳守してください（期限に遅れた場合は受け付けません）。

窓口受付時間

〔平日〕世田谷キャンパス 8:30~19:30（~17:00）

※時間外は受け付けません

※（ ）の時間は授業日及び追試験・成績相談日以外の業務時間です

授業科目配当表

農学部 農学科

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				1年次	2年次	3年次	4年次	
総合教育科目	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 共通演習	1	L1				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
		必 情報基礎(二)	2	L2				
	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
	課題別科目	特別講義(一)	2	F2				
		特別講義(二)	2	F2				
		特別講義(三)	2	F2				
		特別講義(四)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
	就職準備科目	キャリアデザイン	1		F1			
		ビジネスマナー	1		F1			
		インターンシップ	1			1		
	学部共通科目	リメディアル教育科目	基礎生物	2	F2			
		基礎化学	2	F2				
		基礎数学	2	F2				
		文章表現	2	F2				
		英語(一)	2	F2				必
外国語科目	全学共通科目	必 英語(二)	2	L2				
		必 英語(三)	2	F2				
		必 英語(四)	2	L2				
		英語リーディング(一)	2	F2				
	実用英語科目	英語リーディング(二)	2	L2				
		英会話(一)	2	F2				
		英会話(二)	2	L2				
		TOEIC英語(一)	2	F2				
		TOEIC英語(二)	2	L2				
		英語プレゼンテーション(一)	2		F2			
		英語プレゼンテーション(二)	2		L2			
		科学英語(一)	2		L2			
		科学英語(二)	2			F2		
		初修外国語科目	中国語(一)	2	F2			
中国語(二)	2		L2					
スペイン語(一)	2		F2					
スペイン語(二)	2		L2					

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				1年次	2年次	3年次	4年次	
専門教育科目	人間関係科目	選必 科学と哲学	2		F2			
		選必 芸術	2		F2			
		選必 生命倫理	2		L2			理生
		選必 文化人類学	2		L2			
	社会関係科目	選必 経済入門	2		F2			
		選必 国際関係を考える	2		F2			
		選必 日本国憲法	2		L2			必
	自然関係科目	選必 現代社会の諸問題	2		L2			
		選必 生物学	2	L2				(理生)
		選必 化学	2	L2				(理化)
		選必 数学	2	L2				
		選必 物理学	2	L2				(理物)
	専門共通科目	選必 地学	2		F2			(理地)
		必 農学原論	2	F2				(農)
		必 農業実習(一)	3	F6				(農)
		必 基礎演習	1	F1				
		必 農業実習(二)	3	L6				(農)
		必 心理学概論	2	L2				
		必 生化学	2		L2			理化
		必 環境科学	2			F2		理化
必 知的財産論		2			F2			
必 動植物園論		2			L2			
必 農業インターンシップ(一)		2	F2				農	
必 農業インターンシップ(二)		2	L2				農	
必 実験計画法		2			F2		理生	
必 作物生産学		2	F2				(農)	
必 土壌学		2	F2				(農)	
必 遺伝学		2	F2				理生	
専門基礎科目	必 育種学	2	L2				理生	
	必 植物病理学	2	L2				農	
	必 昆虫学	2	L2				理生	
	必 園芸学(一)	2	F2				農	
	必 園芸学(二)	2	L2				農	
	必 生物学実験	2		4			(理生)	
	必 農業実習(三)	2		4			(農)	
	必 雑草学	2			F2		農	

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専 門 科 教 育 科 目	専 門 コア 科 目	食用作物学(一)	2		F2			農
		食用作物学(二)	2		L2			農
		工芸・飼料作物学	2		L2			農
		植物育種学	2		L2			農
		植物病原微生物学(一)	2		F2			理生
		植物病原微生物学(二)	2			F2		理生
		果樹園芸学	2		F2			農
		果樹栽培論	2		L2			農
		野菜園芸学	2		F2			農
		野菜栽培論	2		L2			農
		花卉園芸学	2		F2			農
		花卉栽培論	2		L2			農
		バイオナーサリー論	2		F2			理生
	園芸環境植物学	2		F2			農	
	ポストハーベスト論	2		L2			農	
	必	作物学実験(一)	2			F4		農
		植物育種学実験(一)				F4		理生
		植物病理学実験(一)				F4		理生
		園芸生産学実験(一)				F4		農
		ポストハーベスト学実験(一)				F4		農
		農業環境学実験(一)				F4		農
		作物学実験(二)	2			L4		農
		植物育種学実験(二)				L4		理生
		植物病理学実験(二)				L4		理生
		園芸生産学実験(二)				L4		農
	必	ポストハーベスト学実験(二)				L4		農
		農業環境学実験(二)				L4		農
		農業気象学	2		F2			理地
		植物栄養学	2		F2			農
		植物生理生態学	2		L2			理生
	学 際 領 域 科 目	農業経営学	2		L2			農
		生命科学	2			F2		理生
		自然再生技術論	2			F2		理生
植物生長調節論		2			L2		理生	
分子生物学		2			L2		理生	
農産物マーケティング論		2			L2		農	
植物防疫論		2			L2		農	
綜 合 化 科 目	必	作物学演習(一)	4			F4		農
		植物育種学演習(一)				F4		理生
		植物病理学演習(一)				F4		理生
		園芸生産学演習(一)				F4		農
		ポストハーベスト学演習(一)				F4		農
		農業環境学演習(一)				F4		農

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専 門 科 教 育 科 目	必	作物学演習(二)	4			L4		農	
		植物育種学演習(二)				L4		理生	
		植物病理学演習(二)				L4		理生	
		園芸生産学演習(二)				L4		農	
		ポストハーベスト学演習(二)				L4		農	
		農業環境学演習(二)				L4		農	
		作物学演習(三)		4				F4	農
		植物育種学演習(三)						F4	理生
		植物病理学演習(三)						F4	理生
		園芸生産学演習(三)						F4	農
	ポストハーベスト学演習(三)					F4	農		
	農業環境学演習(三)					F4	農		
	必	作物学演習(四)	4				L4		
		植物育種学演習(四)					L4		
		植物病理学演習(四)					L4		
		園芸生産学演習(四)					L4		
	必	ポストハーベスト学演習(四)	4				L4		
		農業環境学演習(四)					L4		
	必	卒業論文	4				4		

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
(c) 専門教育科目	必修科目	53単位
	選択必修科目	12単位
(d) 総合教育科目 + 外国語科目 + 専門教育科目	の選択科目	44単位以上
合 計		124単位以上

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す。(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○」で囲んだ科目は、教員免許取得の主要科目のため、教職必修科目とする。
卒業要件単位数について

- 区分(d)には次の単位を含めることができる。
 - 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。ただし、合計して30単位を上限とする(他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は30単位)。
 - 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位
 - 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。

- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。
 - 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
 - 注) 2 学科基礎科目の人間関係分野の科目は、選択必修科目の4科目の中から2科目を選び必修とする。
 - 注) 3 学科基礎科目の社会関係分野の科目は、選択必修科目の4科目の中から2科目を選び必修とする。
 - 注) 4 学科基礎科目の自然関係分野の科目は、選択必修科目の4科目の中から2科目を選び必修とする。
 - 注) 5 外国語科目の初修外国語は、在学中1か国語のみ履修することができる。(複数の外国語の履修は認めない)。
 - 注) 6 学科基礎科目の人間関係科目は4科目の中から2科目を選び必修とする
 - 注) 7 学科基礎科目の社会関係科目は4科目の中から2科目を選び必修とする
 - 注) 8 学科基礎科目の自然関係科目は5科目の中から2科目を選び必修とする
 - 注) 9 全学共通科目の英語(一)～(四)は農学部全体でクラス分けを行う
 - 注) 10 農業実習(一)(二)・共通演習・基礎演習・農学原論は農学部全体でクラス分けを行う。

農学部 動物科学科

動物

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2					
		必 共通演習	1	L1					
		必 情報基礎(一)	2	F2				必	
		必 情報基礎(二)	2	L2					
	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必	
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必	
	課題別科目	特別講義(一)	2	F2					
		特別講義(二)	2	F2					
		特別講義(三)	2	F2					
		特別講義(四)	2	F2					
		国際ナショナル・スタディーズ(一)	2	F2					
		国際ナショナル・スタディーズ(二)	2	L2					
	就職準備科目	キャリアデザイン	1		F1				
		ビジネスマナー	1		F1				
		インターンシップ	1			1			
	学部共通科目	リメディアル教育科目	基礎生物	2	F2				
		基礎化学	2	F2					
		基礎数学	2	F2					
		文章表現	2	F2					
	外国語科目	全学共通科目	必 英語(一)	2	F2			必	
必 英語(二)			2	L2					
必 英語(三)			2		F2				
必 英語(四)			2		L2				
実用英語科目		英語リーディング(一)	2	F2					
		英語リーディング(二)	2	L2					
		英会話(一)	2		F2				
		英会話(二)	2		L2				
		TOEIC英語(一)	2		F2				
		TOEIC英語(二)	2		L2				
		英語プレゼンテーション(一)	2			F2			
		英語プレゼンテーション(二)	2			L2			
		科学英語(一)	2			L2			
		科学英語(二)	2				F2		
		初修外国語科目	中国語(一)	2		F2			
			中国語(二)	2		L2			
スペイン語(一)	2			F2					
スペイン語(二)	2			L2					

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門教育科目	人間関係科目	科学と哲学	2		F2			
		芸術	2		F2			
		生命倫理	2		L2			理生
		文化人類学	2		L2			
	社会関係科目	選必	経済入門	2		F2		
		選必	国際関係を考える	2		F2		
		選必	日本国憲法	2		L2		必
	自然関係科目	選必	現代社会の諸問題	2		L2		
			生物学	2	L2			(理生)
			化学	2	L2			(理化)
		選必	数学	2	L2			
			物理学	2	L2			(理物)
			地学	2		F2		(理地)
	専門共通科目	必	農学原論	2	F2			(農)
			環境科学	2			F2	理化
			動植物園論	2			L2	
			心理学概論	2	L2			
			知的財産論	2			F2	
			基礎演習	1	F1			
			☆ 生化学	2		L2		理化
● 農業実習(一)			3	F6			農	
● 農業実習(二)			3	L6			(農)	
創生型科目			農業インターンシップ(一)	2	F2			
			農業インターンシップ(二)	2	L2			
専門基礎科目			必	☆○ 畜産概論	2	F2		
	☆○ 動物解剖組織学	2		F2			理生	
	化学実験	2		L4			(理化)	
	生物学実験	2		L4			(理生)	
	生物統計学	2			L2		理生	
	畜産実習概論	2		F2			農	
	☆ 家畜品種論	2		F2			農	
	特用家畜論	2				L2	農	
	実験動物学	2		F2			理生	
	☆ 家畜栄養学	2		F2			理生	
	家畜微生物学	2				F2	理生	
	☆ 草地学	2			F2		農	
食品衛生学	2			L2	理生			
● 動物発生工学	2			L2	理生			
畜産関連法規	2			L2	農			

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専 門 教 育 科 目	生命科学分野の科目	必 ● 動物生殖学(一)	2		F2			理生	
		必 ☆ 動物生殖学(二)	2		L2			理生	
		● 生殖補助技術論	2			F2		農	
		必 ☆ ○ 動物遺伝育種学(一)	2		F2			理生	
		必 動物遺伝育種学(二)	2		L2			理生	
		動物遺伝資源学	2		F2			理生	
		必 ☆ 動物生理学(一)	2	L2				理生	
		必 ☆ 動物生理学(二)	2		F2			理生	
		動物免疫学	2			F2		理生	
		動物生理化学	2			L2		理生	
	専門コア科目	必 ○ 動物飼養学(一)	2		F2			農	
		必 動物飼養学(二)	2		L2			農	
		☆ 飼料学	2	L2				農	
		☆ ○ 家畜管理学	2	L2				農	
		生産科学分野の科目	必 ☆ 畜産物利用学(一)	2		F2			農
			必 ☆ 畜産物利用学(二)	2		L2			農
			食品微生物学	2		L2			農
			動物性食品機能学	2			F2		農
			必 ☆ 動物衛生学(一)	2		F2			農
			必 ☆ 動物衛生学(二)	2		L2			農
	必 ☆ 動物産業経営学(一)		2		F2			農	
	必 ☆ 動物産業経営学(二)		2		L2			農	
	市場流通論		2			F2		農	
	農業経営学		2			F2		農	
	学際領域科目	植物生理生態学	2		L2			理生	
		植物生長調節論	2			L2		理生	
		生命科学	2			F2		理生	
		分子生物学	2			L2		理生	
		自然再生技術論	2			F2		理生	
		農業気象学	2		F2			理地	
		植物栄養学	2		F2				
		農産物マーケティング論	2			L2			
動物解剖学		2		F2					
動物管理学		2	L2						
総合化科目		必 ● 畜産学実験実習・演習(一)	2		4			農	
		必 畜産学実験実習・演習(二)	2			4		農	
	必 畜産学実験実習・演習(三)	2				4	農		
	必 卒業論文	4				4			

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
(c) 専門教育科目	必修科目	61単位
	選択必修科目	12単位
(d) 総合教育科目 + 外国語科目 + 専門教育科目	の選択科目	36単位以上
合計		124単位以上

区分欄の必は必修科目,選必は選択必修科目を表す。(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○で囲んだ科目」は,教員免許取得の主要科目のため,教職必修科目とする。

卒業要件単位数について

●区分(d)には次の単位を含めることができる。

- 1 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。ただし,合計して30単位を上限とする(他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は30単位)。
- 2 選択必修科目のうち,卒業要件の卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位
- 3 区分(c)の選択科目のうち,卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。

●リメディアル教育科目の修得単位は,卒業要件単位に含めない。

注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目,Lは後学期配当科目を表す。

注) 2 学科基礎科目の人間関係分野の科目は,選択必修科目の4科目中から2科目を選び必修とする。

注) 3 学科基礎科目の社会関係分野の科目は,選択必修科目の4科目中から2科目を選び必修とする。

注) 4 学科基礎科目の自然関係分野の科目は,選択必修科目の4科目の中から2科目を選び必修とする。

注) 5 外国語科目の初修外国語は,在学中1か国語のみ履修することができる。(複数の外国語の履修は認めない)。

注) 6 学科基礎科目の人間関係科目は4科目中から2科目を選び必修とする

注) 7 学科基礎科目の社会関係科目は4科目中から2科目を選び必修とする

注) 8 学科基礎科目の自然関係科目は5科目中から2科目を選び必修とする

注) 9 全学共通科目の英語(一)～(四)は農学部全体でクラス分けを行う

注) 10 農業実習(一)(二)・共通演習・基礎演習・農学原論は農学部全体でクラス分けを行う。

注) 11 ☆は食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格(いずれも任用資格)に必要な科目である。

注) 12 ●は,家畜人工受精師(家畜人工授精ならびに家畜体内および体外受精卵移植)に関する講習会受講資格に必要な科目である。

注) 13 ○は,家畜人工受精師(家畜人工授精ならびに家畜体内および体外受精卵移植)に関する講習会受講資格に推奨されている科目である。

農学部 生物資源開発学科

資源

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合教育科目	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 共通演習	1	L1				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
		必 情報基礎(二)	2	L2				
	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
	課題別科目	特別講義(一)	2	F2				
		特別講義(二)	2	F2				
		特別講義(三)	2	F2				
		特別講義(四)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
	就職準備科目	キャリアデザイン	1		F1			
		ビジネスマナー	1		F1			
		インターンシップ	1			1		
	学部共通科目	リメディアル教育科目	基礎生物	2	F2			
		基礎化学	2	F2				
		基礎数学	2	F2				
		文章表現	2	F2				
		英語(一)	2	F2				必
外国語科目	全学共通科目	必 英語(二)	2	L2				
		必 英語(三)	2	F2				
		必 英語(四)	2	L2				
		英語リーディング(一)	2	F2				
	実用英語科目	英語リーディング(二)	2	L2				
		英会話(一)	2	F2				
		英会話(二)	2	L2				
		TOEIC英語(一)	2	F2				
		TOEIC英語(二)	2	L2				
		英語プレゼンテーション(一)	2		F2			
		英語プレゼンテーション(二)	2		L2			
		科学英語(一)	2		L2			
		科学英語(二)	2			F2		
		初修外国語科目	中国語(一)	2	F2			
中国語(二)	2		L2					
スペイン語(一)	2		F2					
スペイン語(二)	2		L2					

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門教育科目	人間関係科目	選 科学と哲学	2		F2			
		選 芸術	2		F2			
		選 生命倫理	2		L2			
		選 文化人類学	2		L2			
	社会関係科目	選 経済入門	2		F2			
		選 国際関係を考える	2		F2			
		選 日本国憲法	2		L2			必
	自然関係科目	選 現代社会の諸問題	2		L2			
		選 生物学	2	L2				理生
		選 化学	2	L2				理化
		選 数学	2	L2				
		選 物理学	2	L2				理物
	創生型科目	選 地学	2		F2			理地
		必 農学原論	2	F2				農
		必 農業実習(一)	3	F6				農
		必 基礎演習	1	F1				
		必 農業実習(二)	3	L6				農
		必 心理学概論	2	L2				
		必 生化学	2		L2			理化
		必 環境科学	2			F2		理化
必 知的財産論		2			F2			
必 動植物園論		2			L2		農	
必 農業インターンシップ(一)		2	F2				農	
必 農業インターンシップ(二)		2	L2				農	
専門基礎科目		必 生物資源保全学(一)	2	F2				理生
		必 生物資源利用学(一)	2	L2				農
		必 土壌学	2	F2				農
		必 植物病理学	2	L2				農
	必 生物資源保全学(二)	2	F2				理生	
	必 植物多様性学	2	F2				農	
	必 野生動物学	2	F2				理生	
	必 昆虫学	2	F2				理生	
	必 薬用資源学	2	F2				農	
	必 遺伝資源利用学	2	F2				理生	
創生型科目	必 生物学実験	2		F4			理生	
	必 生物資源利用学(二)	2	L2				理生	
	必 化学実験	2		L4			理化	

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専 門 科 目	専 門 コア 科 目	植物育成管理学	2		L2			農
		野生動物生態学	2		L2			農
		機器分析学	2			F2		理化
		生命工学	2			F2		理生
		生物多様性と分類	2			L2		
		植物育種学	2				F2	農
		生物情報利用学	2				F2	
		動物管理学	2	L2				農
		自然環境保全論	2		F2			
		農業気象学	2		F2			理地
		植物栄養学	2		F2			農
		動物解剖学	2		F2			理生
		植物生理生態学	2		L2			理生
		農業経営学	2			F2		農
	生命科学	2			F2		理生	
	自然再生技術論	2			F2		理生	
	農業と生物多様性管理	2			L2		農	
	進化生物学	2			L2			
	植物昆虫関係学	2			L2			
	植物生長調節論	2			L2		理生	
	分子生物学	2			L2		理生	
	農産物マーケティング論	2			L2		農	
	植物防疫論	2			L2		農	
	里山学	2				F2	農	
	学 際 領 域 科 目	必 分野別実験(一)	2			F4		
		必 分野別実験(二)	2			L4		
		必 分野別演習(一)	4			F4		
		必 分野別演習(二)	4			L4		
必 分野別演習(三)		4				F4		
必 分野別演習(四)		4				L4		
総 合 化 科 目	必 卒業論文	4				4		

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
(c) 専門教育科目	必修科目	53単位
	選択必修科目	12単位
	選択科目	14単位
総合教育科目 + (d) 外国語科目 + 専門教育科目		の選択科目
		30単位以上
合 計		124単位以上

区分欄の必は必修科目,選必は選択必修科目を表す。(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○で囲んだ科目」は,教員免許取得の主要科目のため,教職必修科目とする。

卒業要件単位数について

●区分(d)には次の単位を含めることができる。

- 1 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。ただし,合計して30単位を上限とする(他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は30単位)。
- 2 選択必修科目のうち,卒業要件の卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位
- 3 区分(c)の選択科目のうち,卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。

●リメディアル教育科目の修得単位は,卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目,Lは後学期配当科目を表す。
- 注) 2 学科基礎科目の人間関係分野の科目は,選択必修科目の4科目の中から2科目を選び必修とする。
- 注) 3 学科基礎科目の社会関係分野の科目は,選択必修科目の4科目の中から2科目を選び必修とする。
- 注) 4 学科基礎科目の自然関係分野の科目は,選択必修科目の4科目の中から2科目を選び必修とする。
- 注) 5 外国語科目の初修外国語は,在学中1か国語のみ履修することができる。(複数の外国語の履修は認めない)。
- 注) 6 学科基礎科目の人間関係科目は4科目の中から2科目を選び必修とする
- 注) 7 学科基礎科目の社会関係科目は4科目の中から2科目を選び必修とする
- 注) 8 学科基礎科目の自然関係科目は5科目の中から2科目を選び必修とする
- 注) 9 全学共通科目の英語(一)～(四)は農学部全体でクラス分けを行う
- 注) 10 農業実習(一)(二)・共通演習・基礎演習・農学原論は農学部全体でクラス分けを行う。

農学部 デザイン農学科

デザイン

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合教育科目	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 共通演習	1	L1				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
		必 情報基礎(二)	2	L2				
	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
	課題別科目	特別講義(一)	2	F2				
		特別講義(二)	2	F2				
		特別講義(三)	2	F2				
		特別講義(四)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
	就職準備科目	キャリアデザイン	1		F1			
		ビジネスマナー	1		F1			
		インターンシップ	1			1		
	学部共通科目	リメディアル教育科目	基礎生物	2	F2			
		基礎化学	2	F2				
		基礎数学	2	F2				
		文章表現	2	F2				
		全学共通科目	基礎英語科目	必 英語(一)	2	F2		
外国語科目	基礎英語科目	必 英語(二)	2	L2				
		必 英語(三)	2	F2				
		必 英語(四)	2	L2				
		英語リーディング(一)	2	F2				
	実用英語科目	英語リーディング(二)	2	L2				
		英会話(一)	2	F2				
		英会話(二)	2	L2				
		TOEIC英語(一)	2	F2				
		TOEIC英語(二)	2	L2				
		英語プレゼンテーション(一)	2		F2			
		英語プレゼンテーション(二)	2		L2			
		科学英語(一)	2		L2			
		科学英語(二)	2			F2		
		初修外国語科目	中国語(一)	2	F2			
中国語(二)	2		L2					
スペイン語(一)	2		F2					
スペイン語(二)	2		L2					

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門教育科目	人間関係科目	選 科学と哲学	2	F2				
		選 芸術	2	F2				
		選 生命倫理	2	L2				
		選 文化人類学	2	L2				
	社会関係科目	選 経済入門	2	F2				
		選 国際関係を考える	2	F2				
		選 日本国憲法	2	L2				必
	自然関係科目	選 現代社会の諸問題	2	L2				
		選 生物学	2	L2				
		選 化学	2	L2				
		選 数学	2	L2				
	専門共通科目	必 物理学	2	L2				
		必 地学	2	F2				
	創生型科目	必 農学原論	2	F2				農
		必 農業実習(一)	3	F6				農
		必 基礎演習	1	F1				
		必 農業実習(二)	3	L6				農
		必 心理学概論	2	L2				
		必 生化学	2	L2				
		必 環境科学	2		F2			
必 知的財産論		2		F2				
必 動植物園論		2		L2			農	
必 農業インターンシップ(一)		2	F2				農	
必 農業インターンシップ(二)	2	L2				農		
専門基礎科目	必 デザイン農学概論	2	F2				農	
	必 バイオテクノロジー論	2	L2				農	
	必 サステナビリティ農学	2	L2					
	必 畜産物利用論	2	F2				農	
	必 農産物利用論	2	F2				農	
	必 生活デザイン農学	2	F2				農	
	必 デザイン農学基礎実験実習・演習	3	F6				農	
	必 食品化学	2	F2				農	
	必 デザイン農学栽培入門	2	F2				農	
	必 デザイン農学専攻別実験実習・演習	3	L6				農	
必 実験計画法	2	L2						
必 社会デザイン農学	2	L2						
必 活用動物飼育学	2	L2				農		
必 食品分析学	2		F2			農		

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門教育科目	専門コア科目	必 生物介在療法学	2		L2			
		必 サイエンスコミュニケーション論	2		L2			
		栄養調理学	2		L2			
		食品管理学	2		L2			
		バイオミクリー論	2			F2		
		ESD概論	2			F2		
		農福医連携デザイン農学	2			F2		
		食品機能学	2			L2		
		食品微生物学	2			L2		農
		生き物活用法	2			L2		
	学際領域科目	動物管理学	2	L2				農
		農業気象学	2		F2			
		植物栄養学	2		F2			農
		動物解剖学	2		F2			
		植物生理生態学	2		L2			
		農業経営学	2			F2		農
		生命科学	2			F2		
		自然再生技術論	2			F2		
		植物生長調節論	2			L2		
		分子生物学	2			L2		
	総合化科目	必 専攻基礎実験実習・演習(一)	3			F6		
		必 専攻基礎実験実習・演習(二)	3			L6		
		必 専攻応用実験実習・演習(一)	3				F6	
		必 専攻応用実験実習・演習(二)	3				L6	
		必 卒業論文	4					4

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
(c) 専門教育科目	必修科目	55単位
	選択必修科目	12単位
	選択科目	14単位
総合教育科目 + (d) 外国語科目 + 専門教育科目	の選択科目	28単位以上
合計		124単位以上

区分欄の必は必修科目,選必は選択必修科目を表す。(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○で囲んだ科目」は,教員免許取得の主要科目のため,教職必修科目とする。

卒業要件単位数について

●区分(d)には次の単位を含めることができる。

- 1 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。ただし,合計して30単位を上限とする(他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は30単位)。
- 2 選択必修科目のうち,卒業要件の卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位
- 3 区分(c)の選択科目のうち,卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。

●リメディアル教育科目の修得単位は,卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目,Lは後学期配当科目を表す。
- 注) 2 学科基礎科目の人間関係分野の科目は,選択必修科目の4科目の中から2科目を選び必修とする。
- 注) 3 学科基礎科目の社会関係分野の科目は,選択必修科目の4科目の中から2科目を選び必修とする。
- 注) 4 学科基礎科目の自然関係分野の科目は,選択必修科目の4科目の中から2科目を選び必修とする。
- 注) 5 外国語科目の初修外国語は,在学中1か国語のみ履修することができる。(複数の外国語の履修は認めない)。
- 注) 6 学科基礎科目の人間関係科目は4科目の中から2科目を選び必修とする
- 注) 7 学科基礎科目の社会関係科目は4科目の中から2科目を選び必修とする
- 注) 8 学科基礎科目の自然関係科目は5科目の中から2科目を選び必修とする
- 注) 9 全学共通科目の英語(一)～(四)は農学部全体でクラス分けを行う
- 注) 10 農業実習(一)(二)・共通演習・基礎演習・農学原論は農学部全体でクラス分けを行う。

デザイン

農学部

応用生物科学部 農芸化学科

化学

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2					
		必 共通演習	1	L1					
		必 情報基礎(一)	2	F2				必	
		必 情報基礎(二)	2	L2					
	関係科目 スポーツ	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必	
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必	
	課題別科目	特別講義(一)	2						
		特別講義(二)	2						
		特別講義(三)	2						
		特別講義(四)	2						
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2					
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2					
	就職準備科目	キャリアデザイン	1		F1				
		ビジネスマナー	1		F1				
		インターンシップ	1			L1			
	学部共通科目	リメディアル教育科目	基礎生物	2	F2				
		基礎化学	2	F2					
	外国語科目	全学共通科目	必 英語(一)	2	F2			必	
必 英語(二)			2	L2					
必 英語(三)			2	F2					
必 英語(四)			2	L2					
実用英語科目		TOEIC英語(一)	2	F2					
		TOEIC英語(二)	2	L2					
		英語リーディング(一)	2	F2					
		英語リーディング(二)	2	L2					
		英会話(一)	2	L2					
		英会話(二)	2	F2					
		科学英語	2		L2				
		ビジネス英語	2		F2				
		初修外国語科目	中国語(一)	2	F2				
			中国語(二)	2	L2				
スペイン語(一)	2		F2						
スペイン語(二)	2		L2						

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門教育科目	人間関係科目	必 生命倫理	2	F2				
		科学と哲学	2	F2				
		選必 農と科学の歴史	2	L2				
		心の構造	2	L2				
	社会関係科目	選必 日本国憲法	2		F2			必
		法と社会	2		F2			
		経済入門	2		L2			
	現代環境問題	現代の環境問題	2		L2			
		選必 生物学	2	F2				(理生)
		化学	2	F2				(理化)
		物理学	2	L2				(理物)
		地学	2	L2				(理地)
		統計学	2	L2				
	専門共通科目	生命科学	2			L2		
		環境科学	2			L2		
	学科専門科目	創生型科目	食育コース	2			L2	
			必 無機化学(一)	2	F2			理化
		必 無機化学(二)	2	L2				理化
必 有機化学(一)		2	F2				理化	
必 有機化学(二)		2	L2				理化	
必 生物化学(一)		2	L2				理化	
必 生物化学(二)		2		F2			理化	
必 分子生物学		2		F2			農	
必 細胞生物学		2		L2			理生	
必 微生物学		2		F2			理生	
必 食品化学(一)		2		F2			(農)	
必 無機化学実験		2	L4				(理化)	
必 分析化学実験		2	L4				理化	
必 有機化学実験		2	L4				(理化)	
必 生物化学実験	2		L4			理化		
必 食品化学実験	2		L4			(農)		
必 微生物学実験	2		L4			理生		
必 農芸化学演習	1	F1				(農)		
必 分析化学演習	2	F2						

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門科教育科目	専門コア科目	必 生物有機化学	2		F2			理化
		必 土壌学	2		F2			農
		必 植物生理学	2		L2			理生
		必 環境化学	2			F2		
		必 肥料・植物栄養学	2			F2		農
		必 応用微生物学	2			F2		理生
		必 栄養生理化学	2			F2		農
		必 食品製造学	2			F2		農
		必 実験データ解析概論	2			F2		
		必 生物応用化学実験	2			F4		農
	必 食品製造学実習	1			F2		農	
	必 食品衛生学	2			L2		農	
	選 工場管理論	2			F2			
	選 マーケティング学	2			F2			
	選 土壌微生物学	1			F1		農	
	選 分子遺伝学	1			F1		農	
	選 バイオインフォマティクス	1			F1			
	選 機能性分子作用学	1			F1		農	
	選 生体高分子化学	1			F1		理生	
	選 有機合成化学	1			L1		理化	
	選 共生微生物学	1			L1		農	
	選 作物学	1			L1		農	
	選 植物病理学	1			L1		農	
	選 ポストハーベスト学	1			L1			
	選 食品化学(二)	2		L2			農	
	選 進化論	2			F2			
	選 生物工学概論	2			L2			
	選 食品工学概論	2			F2			
	選 バイオプロセス工学概論	2			F2			
	選 機器分析学概論	2			F2			
	選 起業論	2			L2			
	選 知的財産概論	2			L2			
選 生産経営概論	2			L2				
選 科学メディア論	2			L2				
選 研究室演習(一)	1			F1				
選 研究室演習(二)	1			L1				
選 卒業論文演習(一)	2				F2			
選 卒業論文演習(二)	2				L2			
選 卒業論文	4					4		
選 論文基礎英語	1				F1			
選 実験計画法	1				F1			
選 農芸化学特論	2				L2			
学際領域科目	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
総合化科目	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	
	必 必	必	必	必	必	必	必	

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
(c) 専門教育科目	必修科目	72単位
	選択必修科目	14単位
	選択科目	2単位
総合教育科目 + (d) 外国語科目 + 専門教育科目 の選択科目		21単位以上
合計		124単位以上

卒業要件単位数について

- 区分(d)には、次の単位を含めることができる。
 - 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。
ただし、合計して30単位を上限とする（他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は16単位）。
 - 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
- 2 学科基礎科目の人間関係分野の科目は、選択必修科目の3科目中から1科目を選び必修とする。
- 3 学科基礎科目の社会関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
- 4 学科基礎科目の自然関係分野の科目は、選択必修科目の4科目中から1科目を選び必修とする。
- 5 外国語科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる（複数の外国語の履修は認めない）。
- 6 学科専門科目の選択必修科目については、下記のとおりとする。
- 「工場管理論」「マーケティング学」の2科目中から1科目を選び必修とする。
 - 「土壌微生物学」「分子遺伝学」「バイオインフォマティクス」「機能性分子作用学」「生体高分子化学」の5科目中から2科目を選び必修とする。
 - 「有機合成化学」「共生微生物学」「作物学」「植物病理学」「ポストハーベスト学」の5科目中から2科目を選び必修とする。

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○で囲んだ科目」は、教員免許取得の主要科目のため、教職必修科目とする。

応用生物科学部 醸造科学科

醸造

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職		
				一年次	二年次	三年次	四年次			
総合教育科目	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2						
		必 共通演習	1	L1						
		必 情報基礎(一)	2	F2				必		
		必 情報基礎(二)	2	L2						
	関係科目	スポーツ	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必	
		スポーツ	スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必	
	課題別科目		特別講義(一)	2						
			特別講義(二)	2						
			特別講義(三)	2						
			特別講義(四)	2						
			インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2					
			インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2					
		就職準備科目		キャリアデザイン	1		F1			
				ビジネスマナー	1		F1			
			インターンシップ	1			L1			
	学部共通科目	リメディアル教育科目	基礎生物	2	F2					
			基礎化学	2	F2					
	外国語科目	全学共通科目	必 英語(一)	2	F2				必	
			必 英語(二)	2	L2					
			必 英語(三)	2		F2				
必 英語(四)			2		L2					
実用英語科目			TOEIC英語(一)	2	F2					
			TOEIC英語(二)	2	L2					
			英語リーディング(一)	2		F2				
			英語リーディング(二)	2		L2				
			英会話(一)	2	L2					
			英会話(二)	2		F2				
			科学英語	2			L2			
			ビジネス英語	2			F2			
		初修外国語科目		中国語(一)	2	F2				
				中国語(二)	2	L2				
	スペイン語(一)		2	F2						
	スペイン語(二)		2	L2						

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専門教育科目	人間関係科目	必 生命倫理	2	F2					
		必 科学と哲学	2	F2					
		選 農と科学の歴史	2	L2					
		選 心の構造	2	L2					
	社会関係科目	選 日本国憲法	2		F2			必	
		選 法と社会	2		F2				
		選 経済入門	2		L2				
	自然関係科目	必 現代の環境問題	2		L2				
		必 生物学	2	F2				(理生)	
		選 化学	2	L2				(理化)	
		選 物理学	2	L2				(理物)	
		選 地学	2	L2				(理地)	
		選 統計学	2	L2					
	専門共通科目		生命科学	2			L2		
			環境科学	2			L2		
	学科専門科目	創生型科目		食育コース	2			L2	
			必 一般化学	2	F2				理化
		必 基礎化学実験	3	F6				(理化)	
		必 醸造微生物学	2	F2				理生	
		必 微生物学実験	3	F6				理生	
必 酒類総論		2	L2						
必 分析化学		2	L2				理化		
必 醸造環境学		2	L2						
必 有機化学(一)		2	L2				理化		
必 有機化学(二)		2		F2			理化		
必 発酵食品化学		2		F2			理化		
必 調味食品学		2		F2					
必 生化学(一)		2		F2			理化		
必 生化学(二)		2		L2			理化		
必 食品化学実験	3		L6						
必 分子生物化学	2			F2		理生			
必 分子生物学実験	1			F2		理生			

分野	区分	授 業 科 目	単 位 数	週時間数				教 職	
				一 年 次	二 年 次	三 年 次	四 年 次		
専 門 科 教 育 科 目	専 門 コ ア 科 目	必 食品微生物学	2	L2					
		必 微生物細胞学	2		F2			理生	
		必 環境微生物学	2		F2			理生	
		必 微生物遺伝学	2		L2			理生	
		必 微生物生理学	2		L2			理生	
		必 麹菌学	2		L2				
		必 食品衛生化学	2		L2				
		必 麹製造学	2		L2				
		必 醸造環境学実験	3		L6			理化	
		必 食品化学	2			F2			
		必 清酒学	2			F2			
		必 調味料生産学実験	3			F6			
		必 酵母学	2			L2			
		必 食品保蔵学	2			L2			
		必 環境化学	2			L2		理化	
		必 酒類生産学実験	3			L6			
				食品加工学	2	L2			
				味噌醸造学	2		F2		
			醤油醸造学	2		L2			
			醸造酒学	2		F2			
			蒸留酒学	2		F2			
			食品機能学	2		F2			
	学 際 領 域 科 目	必 環境保全技術論	2		F2			理化	
		飲酒生理学	2	L2					
		バイオインフォマティクス	2			F2			
		応用酵素学	2			F2		理化	
		環境管理論	2			L2		理化	
		進化論	2		F2				
		生物学概論	2		L2				
		食品工学概論	2			F2			
		バイオプロセス工学概論	2			F2			
		機器分析学概論	2			F2			
起業論		2			L2				
知的財産概論		2			L2				
生産経営概論		2			L2				
科学メディア論		2			L2				
総 合 化 科 目	必 醸造科学特別演習(一)	2			F2				
	必 醸造科学特別実験(一)	1			F2				
	必 醸造科学特別演習(二)	2			L2				
	必 醸造科学特別実験(二)	1			L2				
	必 卒業論文	4				4			
	醸造科学特別実習	2			L4				

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必 修 科 目	7単位
(b) 外国語科目	必 修 科 目	8単位
(c) 専門教育科目	必 修 科 目	84単位
	選 択 必 修 科 目	8単位
	選 択 科 目	2単位
総合教育科目 + (d) 外国語科目 + 専門教育科目 の選択科目		15単位以上
合 計		124単位以上

卒業要件単位数について

- 区分(d)には、次の単位を含めることができる。
 - 1 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。
ただし、合計して30単位を上限とする（他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は16単位）。
 - 2 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - 3 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
 2 学科基礎科目の人間関係分野の科目は、選択必修科目の3科目中から1科目を選び必修とする。
 3 学科基礎科目の社会関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 4 学科基礎科目の自然関係分野の科目は、選択必修科目の4科目中から1科目を選び必修とする。
 5 外国語科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる（複数の外国語の履修は認めない）。
 6 醸造科学特別実習は、集中で行う。

区分欄の「必」は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○で囲んだ科目」は、教員免許取得の主要科目のため、教職必修科目とする。

応用生物科学部 食品安全健康学科

健康

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2					
		必 共通演習	1	L1					
		必 情報基礎(一)	2	F2				必	
		必 情報基礎(二)	2	L2					
	関係科目 スポーツ	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必	
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必	
	課題別科目	特別講義(一)	2						
		特別講義(二)	2						
		特別講義(三)	2						
		特別講義(四)	2						
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2					
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2					
		就職準備科目	キャリアデザイン	1		F1			
		ビジネスマナー	1		F1				
	インターンシップ	1			L1				
	学部共通科目	リメディアル教育科目	基礎生物	2	F2				
		基礎化学	2	F2					
	外国語科目	全学共通科目	必 英語(一)	2	F2			必	
			必 英語(二)	2	L2				
			必 英語(三)	2		F2			
必 英語(四)			2		L2				
実用英語科目		TOEIC英語(一)	2	F2					
		TOEIC英語(二)	2	L2					
		英語リーディング(一)	2		F2				
		英語リーディング(二)	2		L2				
		英会話(一)	2	L2					
		英会話(二)	2		F2				
		科学英語	2			L2			
		ビジネス英語	2			F2			
		初修外国語科目	中国語(一)	2	F2				
			中国語(二)	2	L2				
スペイン語(一)	2		F2						
スペイン語(二)	2		L2						

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門教育科目	人間関係科目	必 生命倫理	2	F2				
		必 科学と哲学	2	F2				
		選 農と科学の歴史	2	L2				
		選 心の構造	2	L2				
	社会関係科目	必 日本国憲法	2		F2			必
		選 法と社会	2		F2			
		選 経済入門	2		L2			
	自然関係科目	必 現代の環境問題	2		L2			
		必 生物学	2	F2				理生
		必 化学	2	F2				理化
		物理学	2	L2				理物
		地学	2	L2				理地
	専門共通科目	統計学	2	L2				
		生命科学	2			L2		
	創生型科目	環境科学	2			L2		
		食育コース	2			L2		
	学科専門科目	必 農学概論	2	F2				農
		必 食品安全健康学概論	1	L1				農
		必 ★ 生化学	2	L2				理化
		必 ★ 解剖生理学	2	L2				理生
必 ★ 有機化学		2	L2				理化	
必 ★ 無機化学		2	L2				理化	
必 ★ 分析化学		2	L2				理化	
必 ★ 微生物学		2		F2				
必 生物有機化学		2		F2			理化	
必 植物生理学		2		F2			理生	
必 細胞生物学		2		L2			理生	
必 分子生物学		2			F2		理生	
必 物質動態化学		2			F2			
必 基礎化学演習		2	F2				理化	
必 ★ 基礎化学実験	2	F4				理化		
必 解剖生理学実験	2	L4				理生		
必 生化学実験	2		F4			理化		
科学英語演習	2			L2				

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専門教育科目	必	★ 食品化学	2	F2				農	
	必	食材生化学	2		F2			農	
	必	食品物性学	2		L2			農	
	必	食品機能学	2			F2		農	
	必	★ 食品安全衛生学	2		L2			農	
	必	★ 食品加工保蔵学	2		L2			農	
	必	食糧資源学	2			F2		農	
	必	発酵食品学	2		L2				
	必	★ 公衆衛生学	2		F2				
	必	毒性学	2			L2		農	
	必	栄養機能学	2		F2			農	
	必	★ 物質分析化学	2		L2			理化	
	必	★ 食品化学実験	2		F4			農	
	必	★ 食材利用学実習	2		L4			農	
	必	発酵食品学実験	2			F4			
	必	食品安全衛生学実験	2			L4		農	
	選必		食品安全健康学実験(食品安全解析学)	2			L4		
			食品安全健康学実験(食品安全評価学)	2			L4		
			食品安全健康学実験(食品利用安全学)	2			L4		
			食品安全健康学実験(分子機能学)	2			L4		
			食品安全健康学実験(生理機能学)	2			L4		
			食品安全健康学実験(生体環境解析学)	2			L4		
			感性科学	2			F2		農
			生理活性物質学	2			F2		
			★ リスクマネジメント演習	2			F2		
			病理学	2			F2		
	学際領域科目		インターナショナルフードアセスメント	2			L2		農
			生物統計学	2			L2		
			バイオインフォマティクス演習	2			L2		理生
			細胞機能学	2			L2		理生
			病態分子生物学	2			L2		
			放射線科学	2			L2		理化
			事業所実習	2			L4		
			進化論	2		F2			
			生物学概論	2		L2			
			食品工学概論	2			L2		
			バイオプロセス工学概論	2			F2		
			機器分析学概論	2			F2		
			起業論	2			L2		
			知的財産概論	2			L2		
		生産経営概論	2			L2			
	科学メディア論	2			L2				
総合化科目	必	研究倫理	1		L1				
	必	食品安全健康学演習(一)	2				F2		
	必	食品安全健康学演習(二)	2				L2		
	必	卒業論文	4					4	

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
(c) 専門教育科目	必修科目	80単位
	選択必修科目	8単位
(d) 総合教育科目 + 外国語科目 + 専門教育科目	の選択科目	21単位以上
合計		124単位以上

卒業要件単位数について

- 区分(d)には、次の単位を含めることができる。
 - 1 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。ただし、合計して30単位を上限とする。(他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は16単位)。
 - 2 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - 3 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。
- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目，Lは後学期配当科目を表す。
 2 学科基礎科目の人間関係分野の科目は、選択必修科目の3科目中から1科目を選び必修とする。
 3 学科基礎科目の社会関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 4 外国語科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる(複数の外国語の履修は認めない)。
 5 ★は、Hazard Analysis and Critical Control Point (HACCP)に必要な科目である。
 6 学科専門科目の選択必修科目「食品安全健康学実験」は、6科目中から所属研究室担当実験を1科目選び必修とする(複数の履修は認めない)。

区分欄の必は必修科目，選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。
 教職欄の必，は、教職必修科目を表す。

健康

応用生物科学部

応用生物科学部 栄養科学科

栄養

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合教育科目	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 共通演習	1	L1				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
		必 情報基礎(二)	2	L2				
	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
	課題別科目	特別講義(一)	2					
		特別講義(二)	2					
		特別講義(三)	2					
		特別講義(四)	2					
	就職準備科目	インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		キャリアデザイン	1	F1				
	学部共通科目	ビジネスマナー	1	F1				
		インターンシップ	1		L1			
	リネディアル教育科目	基礎生物	2	F2				
		基礎化学	2	F2				
	全学共通科目	必 英語(一)	2	F2				必
必 英語(二)		2	L2					
必 英語(三)		2	F2					
必 英語(四)		2	L2					
外国語科目	実用英語科目	TOEIC英語(一)	2	F2				
		TOEIC英語(二)	2	L2				
		英語リーディング(一)	2	F2				
		英語リーディング(二)	2	L2				
		英会話(一)	2	L2				
		英会話(二)	2	F2				
		科学英語	2		L2			
		ビジネス英語	2		F2			
		初修外国語科目	中国語(一)	2	F2			
			中国語(二)	2	L2			
スペイン語(一)	2		F2					
スペイン語(二)	2		L2					

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
学科学科基礎科目	人間関係科目	必 生命倫理	2	L2					
		選必 科学と哲学	2	F2					
		選必 農と科学の歴史	2	L2					
		選必 心の構造	2	L2					
	社会関係科目	選必 日本国憲法	2	F2				必	
		選必 法と社会	2	F2					
		選必 経済入門	2	L2					
	自然関係科目	選必 現代の環境問題	2	L2					
		必 生物学	2	F2				(理生)	
		選必 化学	2	F2				(理化)	
		選必 物理学	2	L2				(理物)	
	専門科目	専門共通科目	地学	2	L2			(理地)	
		専門共通科目	統計学	2	L2				
	専門教育科目	学科学科専門科目	専門共通科目	生命科学	2		L2		
			専門共通科目	環境科学	2		L2		
			専門共通科目	食育コース	2		L2		
			専門基礎科目	必 農学概論	2	F2			
			専門基礎科目	必 ※☆ 医学概論	2	F2			
専門基礎科目			必 ※☆ 生化学(一)	2	F2			理化	
専門基礎科目			必 ☆ 生化学(二)	2	L2			理化	
専門基礎科目			必 ☆ 食事設計基礎演習	2	L2				
専門基礎科目			必 ※☆ 解剖生理学	2	L2			理生	
専門基礎科目			必 ☆ 解剖生理学実験	2	F4			理生	
専門基礎科目		必 有機化学	2	F2			理化		
専門基礎科目		必 分析化学	2	L2			理化		
専門基礎科目		必 微生物学	2	L2			理生		
専門基礎科目		必 ※☆ 公衆衛生学	2		F2				
専門基礎科目		必 ※☆ 基礎栄養学	2	F2					
専門基礎科目		※☆ 基礎栄養学実験	2	F4			理化		
専門基礎科目		☆ 生化学実験	2	L4			理化		
専門コア科目		専門コア科目	※☆ 健康管理概論	2		L2			
	専門コア科目	☆ 運動生理学	2		F2		理生		
	専門コア科目	☆ カウンセリング論	2			F2			
	専門コア科目	☆ 病理学	2	L2					
	専門コア科目	☆ 社会福祉論	1			F1			
	専門コア科目	☆ 医療福祉論	1			F1			
	専門コア科目	必 ※☆ 食品学総論	2	F2					
	専門コア科目	必 食品学各論	2	L2					
	専門コア科目	必 ※☆ 食品分析学実験	2	L4			(理化)		
	専門コア科目	必 食品機能学	2		F2				
専門教育科目	専門教育科目	必 ※☆ 食品加工学	2	F2					
	専門教育科目	必 ※☆ 食品衛生学	2	F2					
	専門教育科目	必 ※☆ 食品衛生学実験	2	L4					
	専門教育科目	必 ※☆ 調理学	2	F2					
	専門教育科目	必 ※☆ 調理学実習(一)	2	F4					
専門教育科目	必 食品加工学実習	2	F4						

分野	区分	授 業 科 目	単 位 数	週時間数				教 職
				一 年 次	二 年 次	三 年 次	四 年 次	
専 門 科 目	専 門 コ ア 科 目	必 ※☆ 応用栄養学	2	L2				
		必 ※☆ 栄養生理学	2			L2		理化
		必 ※☆ 栄養教育論(一)	2		L2			
		必 ※☆ 臨床栄養学総論	2		F2			
		必 ※☆ 給食経営管理論	2		L2			
		必 ※☆ ライフステージ栄養学(一)	2		F2			
		必 ☆ 臨床栄養学各論(一)	2		L2			
		必 ※☆ 公衆栄養学(一)	2			F2		
		必 食品科学実験	1		F2			
		必 調理科学実験	1		L2			
		☆ フードマネジメント論	2			L2		
		☆ 調理学実習(二)	2	L4				
		☆ ライフステージ栄養学(二)	2		L2			
		☆ 応用栄養学実習	2		L4			
		※☆ 栄養教育論(二)	2			F2		
		※☆ 栄養教育実習	2			L4		
		☆ 臨床栄養学各論(二)	2			F2		
		※☆ 臨床栄養学実習(一)	2			F4		
		☆ 臨床栄養学実習(二)	2			L4		
		☆ 医療栄養管理学	2			L2		
		☆ 公衆栄養学(二)	2			L2		
		※☆ 公衆栄養学実習	2			F4		
		※☆ 給食経営管理実習	2			F4		
		☆ 献立作成演習	2			F2		
		薬理学	2			L2		
		スポーツ栄養学	2			L2		
		分子栄養学	2			L2		
		医療フードコーディネーター演習	2			L2		
		栄養疫学	2			L2		
		食品開発論	1			L1		
		※☆ 臨地実習(一)	1				F2	
		☆ 臨地実習(二)	3				F6	
		進化論	2		F2			
		生物工学概論	2		L2			
		食品工学概論	2			L2		
		バイオプロセス工学概論	2			F2		
機器分析学概論	2			F2				
起業論	2			L2				
知的財産概論	2			L2				
生産経営概論	2			L2				
科学メディア論	2			L2				
総 合 化 科 目	必	卒業論文	4				4	
	必	栄養管理学概論	1	F1				
	必	栄養科学特論	1		L1			
	☆	総合演習(一)	1			F1		
☆	総合演習(二)	1			L1			

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
(c) 専門教育科目	必修科目	72単位
	選択必修科目	8単位
(d) 総合教育科目 + 外国語科目 + 専門教育科目	の選択科目	29単位以上
合 計		124単位以上

卒業要件単位数について

- 区分(d)には、次の単位を含めることができる。
 - 1 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。ただし、合計して30単位を上限とする。
 - 2 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - 3 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
- 2 学科基礎科目の人間関係分野の科目は、選択必修科目の3科目中から1科目を選び必修とする。
 - 3 学科基礎科目の社会関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 4 学科基礎科目の自然関係分野の科目は、選択必修科目の4科目中から1科目を選び必修とする。
 - 5 外国語科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる(複数の外国語の履修は認めない)。
 - 6 ※は、栄養士関係科目。
 - 7 栄養士免許を取得するためには、栄養士関係科目を必修とする。
 - 8 ☆は、管理栄養士関係科目。
 - 9 管理栄養士国家試験の受験資格を取得するためには、管理栄養士関係科目を必修とする。
 - 10 臨地実習(一)・(二)は、校外実習。

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○で囲んだ科目」は、教員免許取得の主要科目のため、教職必修科目とする。

応用生物科学部栄養科学科における栄養士・管理栄養士関係科目について

栄養士免許を取得するためには、応用生物科学部栄養科学科のカリキュラムの中で、本学カリキュラムを必修とする。

管理栄養士国家試験の受験資格を取得するためには、応用生物科学部栄養科学科のカリキュラムの中で、次頁の本学カリキュラムを必修とする。

1. 栄養士施行規則に定められた教育内容に関連する栄養士関係科目一覧

平成 26 年 4 月改正

栄養

栄養士施行規則		本学カリキュラム			
教育内容	単位数		科目名	単位数	
	講義 又は 演習	実験 又は 実習		講義 又は 演習	実験 又は 実習
社会生活と健康	4	4	健康管理概論	2	
			公衆衛生学	2	
			社会生活と健康の合計単位数	4	0
人体の構造と機能	8	4	生化学(一)	2	
			解剖生理学	2	
			栄養生理学	2	
			医学概論	2	
			人体の構造と機能の合計単位数	8	0
食品と衛生	6	6	食品学総論	2	
			食品加工学	2	
			食品衛生学	2	
			食品分析学実験		2
			食品衛生学実験		2
食品と衛生の合計単位数	6	4			
栄養と健康	8	8	基礎栄養学	2	
			ライフステージ栄養学(一)	2	
			応用栄養学	2	
			臨床栄養学総論	2	
			基礎栄養学実験		2
			臨床栄養学実習(一)		2
栄養と健康の合計単位数	8	4			
栄養の指導	6	10	栄養教育論(一)	2	
			栄養教育論(二)	2	
			公衆栄養学(一)	2	
			栄養教育実習		2
			公衆栄養学実習		2
栄養の指導の合計単位数	6	4			
給食の運営	4	4	給食経営管理論(給食計画論及び給食実務論を含む)	2	
			調理学	2	
			調理学実習(一)		2
			給食経営管理実習		2
			臨地実習(一)(給食運営の校外実習を含む)		1
給食の運営の合計単位数	4	5			
計	36	14		36	17
合計	50			53	

管理栄養士施行規則		本 学 カ リ キ ュ ラ ム					
教 育 内 容	単位数 講義 又は 演習	単位数 実験 又は 実習	科 目 名	単位数			
				講義 又は 演習	実験 又は 実習		
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	健康管理概論	2			
			公衆衛生学	2			
			社会福祉論	1			
			医療福祉論	1			
	社会・環境と健康の合計単位数				6	0	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14	10	生化学(一)	2		
				生化学(二)	2		
				医学概論	2		
				解剖生理学	2		
				病理学	2		
				栄養生理学	2		
				運動生理学	2		
				解剖生理学実験		2	
				生化学実験		2	
				人体の構造と機能及び疾病の成り立ちの合計単位数			
	食べ物と健康	8		食品学総論	2		
				食品加工学	2		
				食品衛生学	2		
				調理学	2		
				食事設計基礎演習	2		
				献立作成演習	2		
				食品衛生学実験		2	
				食品分析学実験		2	
				調理学実習(一)		2	
				調理学実習(二)		2	
	食べ物と健康の合計単位数				12	8	
	専門基礎分野計	28	10		32	12	
	専門分野	基礎栄養学	2	基礎栄養学	2		
				基礎栄養学実験		2	
		基礎栄養学の合計単位数				2	2
		応用栄養学	6		ライフステージ栄養学(一)	2	
					ライフステージ栄養学(二)	2	
応用栄養学					2		
応用栄養学実習						2	
応用栄養学の合計単位数				6	2		
栄養教育論		6		栄養教育論(一)	2		
				栄養教育論(二)	2		
				カウンセリング論	2		
				栄養教育実習		2	
栄養教育論の合計単位数				6	2		
臨床栄養学		8	8	臨床栄養学総論	2		
				臨床栄養学各論(一)	2		
				臨床栄養学各論(二)	2		
				医療栄養管理学	2		
				臨床栄養学実習(一)		2	
				臨床栄養学実習(二)		2	
臨床栄養学の合計単位数				8	4		
公衆栄養学		4		公衆栄養学(一)	2		
				公衆栄養学(二)	2		
				公衆栄養学実習		2	
公衆栄養学の合計単位数				4	2		
給食経営管理論	4		給食経営管理論	2			
			フードマネジメント論	2			
			給食経営管理実習		2		
給食経営管理論の合計単位数				4	2		
総合演習	2		総合演習(一)	1			
			総合演習(二)	1			
総合演習の合計単位数				2	0		
臨地実習		4	臨地実習(一)(給食運営の校外実習を含む)		1		
			臨地実習(二)(病院・保健所等における臨地実習を含む)		3		
臨地実習の合計単位数				0	4		
専門分野計	32	12		32	18		
計	60	22		64	30		
合計	82			94			

生命科学部 バイオサイエンス学科

バイオ

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2					
		必 共通演習	1	L1					
		必 情報基礎(一)	2	F2				必	
		必 情報基礎(二)	2	L2					
	関係科目 スポーツ	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必	
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必	
	課題別科目	特別講義(一)	2						
		特別講義(二)	2						
		特別講義(三)	2						
		特別講義(四)	2						
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2					
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2					
		就職準備科目	キャリアデザイン	1		F1			
		ビジネスマナー	1		F1				
		インターンシップ	1			L1			
	学部共通科目	リメディアル教育科目	基礎生物	2	F2				
			基礎化学	2	F2				
	外国語科目	全学共通科目	必 英語(一)	2	F2				必
必 英語(二)			2	L2					
必 英語(三)			2		F2				
必 英語(四)			2		L2				
実用英語科目		TOEIC英語(一)	2	F2					
		TOEIC英語(二)	2	L2					
		英会話(一)	2	L2					
		英会話(二)	2		F2				
		ビジネス英語	2			F2			
		初修外国語科目	中国語(一)	2	F2				
			中国語(二)	2	L2				
			スペイン語(一)	2	F2				
スペイン語(二)	2		L2						
ドイツ語(一)	2		F2						
ドイツ語(二)	2		L2						

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
学 科 基 礎 科 目	人間関係 科目	選 科学と哲学	2	F2					
		必 生命倫理	2	L2					
	社会関係 科目	選 経済入門	2	L2					
		必 日本国憲法	2		F2			必	
	自然関係 科目	必 生物学	2	F2				(理生)	
		必 化学	2	F2				(理化)	
			物理学	2	L2			(理物)	
			地学	2	L2			(理地)	
	専 門 教 育 科 目	専門共通 科目	必 生命科学概論	2			F2		
			創生型 科目	起業論	2			L2	
専 門 基 礎 科 目		必 農学概論	2	F2				(農)	
		必 細胞生物学	2	L2				理生	
		必 生化学	2	L2				理化	
		必 生化学実験	3		L6			理化	
		必 分子生物学(一)	2		F2			(農)	
		必 微生物学	2	L2					
		必 微生物学実験	3		L6			農	
		必 基礎生物学実験(一)	3		L6			(理生)	
	必 無機化学	2	F2				理化		
	必 無機化学実験	3		F6			(理化)		
必 有機化学	2	F2				理化			
必 有機化学実験	3		F6			(理化)			
必 生物有機化学	2	L2				理化			
必 生物物理化学	2	L2				理化			
必 生物統計学	2	F2							
必 分子生物学(二)	2		L2			農			
必 基礎生物学実験(二)	3			F6		(理生)			
必 バイオサイエンス基礎実験	3			F6					
必 食品化学	2		F2			(農)			
	数学	2	F2						

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専 門 教 育 科 目	専 門 コ ア 科 目	必 植物生理学	2		F2			農	
		必 動物生理学	2		F2			理生	
		必 生物資源環境科学	2		F2			農	
		必 動物細胞工学	2		L2			農	
		必 生体高分子化学	2		L2				
		必 栄養生化学	2			L2		農	
			食品製造学	2		L2			農
		必 食品衛生学	2			F2		農	
		必 応用微生物学	2			L2			
		必 バイオサイエンス応用実験	2			L4			
		必 科学英語論文講読	2			L2			
		選 必	植物細胞工学	2		L2			農
			ゲノム生物学	2			F2		
			植物分子育種学	2			F2		
			分子遺伝学	2			F2		農
			動物発生学	2			F2		
			生物制御学	2			L2		
			免疫学	2			F2		
	実験動物学		2			F2		農	
	アイソトープ利用論		2			F2			
	食品加工実習		1			F2			
	学 際 領 域 科 目	選 必	機器分析学概論	2			F2		理化
			バイオプロセス工学概論	2			F2		農
			進化論	2			L2		農
			生物工学概論	2			L2		理生
			知的財産概論	2			L2		
			生命科学技術論	2				L2	
	総 合 化 科 目	必	科学論文作成法	2				F2	
			生命科学プレゼンテーション法	2				L2	
			卒業論文	4					4

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○で囲んだ科目」は、教員免許取得の主要科目のため、教職必修科目とする。

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
(c) 専門教育科目	必修科目	81単位
	選択必修科目	12単位
	選択科目	2単位
総合教育科目 + (d) 外国語科目 + 専門教育科目		の選択科目 14単位以上
合計		124単位以上

卒業要件単位数について

- 区分(d)には、次の単位を含めることができる。
 - 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。
ただし、合計して30単位を上限とする(他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は16単位)。
 - 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
 2 学科基礎科目の選択必修科目は、3科目中から1科目を選び必修とする。
 3 学科専門科目の選択必修科目については、下記のとおりとする。
 (1) 専門コア科目は、6科目中から4科目を選び必修とする。
 (2) 学際領域科目は、4科目中から1科目を選び必修とする。
 4 外国語科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる(複数の外国語の履修は認めない)。

生命科学部 分子生命化学科

生化

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				1年次	2年次	3年次	4年次		
総合教育科目	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2					
		必 共通演習	1	L1					
		必 情報基礎(一)	2	F2				必	
		必 情報基礎(二)	2	L2					
	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必	
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必	
	課題別科目	特別講義(一)	2						
		特別講義(二)	2						
		特別講義(三)	2						
		特別講義(四)	2						
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2					
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2					
		キャリアデザイン	1		F1				
		ビジネスマナー	1		F1				
	就職準備科目	インターンシップ	1			L1			
		学部共通科目	リメディアル教育科目						
			基礎生物	2	F2				
		基礎化学	2	F2					
	外国語科目	全学共通科目	必 英語(一)	2	F2				必
			必 英語(二)	2	L2				
必 英語(三)			2		F2				
必 英語(四)			2		L2				
実用英語科目		TOEIC英語(一)	2	F2					
		TOEIC英語(二)	2	L2					
		英会話(一)	2	L2					
		英会話(二)	2		F2				
		ビジネス英語	2			F2			
		初修外国語科目	中国語(一)	2	F2				
			中国語(二)	2	L2				
			スペイン語(一)	2	F2				
			スペイン語(二)	2	L2				
			ドイツ語(一)	2	F2				
ドイツ語(二)	2		L2						

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				1年次	2年次	3年次	4年次		
学基礎科目	人間関係	選 科学と哲学	2	F2					
		必 生命倫理	2	L2					
	社会関係	選 経済入門	2	L2					
		必 日本国憲法	2		F2			必	
	自然関係科目	必 生物学	2	F2				理生	
		必 化学	2	F2				理化	
		物理学	2	L2				理物	
		地学	2	L2				理地	
	専門教育科目	専門共通	必 生命科学概論	2			F2		
			創生型	起業論	2			L2	
専門基礎科目		必 化学量論	2	F2				理化	
		必 基礎有機化学	2	F2				理化	
		必 生物統計学	2	F2					
		必 有機化学(一)	2	L2				理化	
		必 物理化学(一)	2	L2				理物	
		必 高分子化学概説	2	L2				理化	
		必 基礎数学(一)	2	L2					
		必 基礎物理学(一)	2	L2					
		必 基礎及び有機化学実験	3	L6				理化	
		必 無機化学	2		F2			理化	
		必 有機化学(二)	2		F2			理化	
		必 物理化学(二)	2		F2			理物	
必 基礎数学(二)	2		F2						
必 基礎物理学(二)	2		F2						
必 有機合成化学実験	3		F6						
必 無機及び分析化学実験	3		F6			理化			
必 天然物化学実験	3		L6			農			
必 高分子化学実験	3		L6						

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門科目 教育科目	必	農業と化学	2	F2				農
	必	農場実習	1	F2				農
	必	生命高分子学(一)	2		F2			
	必	生命高分子学(二)	2		L2			
	必	生物無機化学(一)	2		L2			
	必	分析化学	2		L2			
	必	生体有機化学	2		L2			理化
	必	単離精製方法論	2			F2		
	必	生命高分子化学	2			F2		理化
	選必	生物機能分子設計学	2			F2		理化
	選必	機器分析学	2			F2		理化
			生物無機化学(二)	2			F2	
			生化学	2			F2	理化
	必	天然物化学	2			L2		農
	必	農薬学	2			L2		農
	必	農産物利用学	2			L2		農
	必	応用分子生命化学実験	2			L4		農
	選必	天然物合成化学	2			L2		理化
	選必	微生物利用学	2			L2		農
			化学生態学	2			L2	農
			機能性物質論	2			F2	農
			危険物取扱法	2		L2		農
			ケミカルバイオロジー	2			F2	農
			化学工学	2			L2	
			卒業論文演習	1			F1	
			分子生命化学プレゼンテーション法(一)	2			F2	農
			分子生命化学プレゼンテーション法(二)	2			L2	農
			分子生命化学文献講読(一)	2			F2	農
		分子生命化学文献講読(二)	2			L2	農	
		卒業論文	4				4	

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○で囲んだ科目」は、教員免許取得の主要科目のため、教職必修科目とする。

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
(c) 専門教育科目	必修科目	87単位
	選択必修科目	6単位
	選択科目	4単位
総合教育科目 + (d) 外国語科目 + 専門教育科目	の選択科目	12単位以上
合計		124単位以上

卒業要件単位数について

- 区分(d)には、次の単位を含めることができる。
 - 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。ただし、合計して30単位を上限とする。(他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は16単位)。
 - 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
 2 学科基礎科目の選択必修科目は、3科目中から1科目を選び必修とする。
 3 専門コア科目の選択必修科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 4 外国語科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる(複数の外国語の履修は認めない)。

生化

生命科学部

生命科学部 分子微生物学科

微生物

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2					
		必 共通演習	1	L1					
		必 情報基礎(一)	2	F2				必	
		必 情報基礎(二)	2	L2					
	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必	
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必	
	課題別科目	特別講義(一)	2						
		特別講義(二)	2						
		特別講義(三)	2						
		特別講義(四)	2						
		インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2					
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2					
		キャリアデザイン	1		F1				
		ビジネスマナー	1		F1				
	就職準備科目	インターンシップ	1			L1			
		学部共通科目	リメディアル教育科目						
			基礎生物	2	F2				
		基礎化学	2	F2					
	外国語科目	全学共通科目	必 英語(一)	2	F2				必
			必 英語(二)	2	L2				
必 英語(三)			2		F2				
必 英語(四)			2		L2				
実用英語科目		TOEIC英語(一)	2	F2					
		TOEIC英語(二)	2	L2					
		英会話(一)	2	L2					
		英会話(二)	2		F2				
		ビジネス英語	2			F2			
		初修外国語科目	中国語(一)	2	F2				
			中国語(二)	2	L2				
			スペイン語(一)	2	F2				
			スペイン語(二)	2	L2				
			ドイツ語(一)	2	F2				
ドイツ語(二)	2		L2						

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
学基礎科目	人間関係	選 科学と哲学	2	F2					
		必 生命倫理	2	L2					
	社会関係	選 経済入門	2	L2					
		必 日本国憲法	2		F2			必	
	自然関係科目	必 生物学	2	F2				(理生)	
		必 化学	2	F2				(理化)	
		物理学	2	L2				(理物)	
		地学	2	L2				(理地)	
	専門教育科目	専門共通	必 生命科学概論	2			F2		
			起業論	2			L2		
創生型		必 農学概論	2	F2				(農)	
		必 無機・有機化学	2	F2				理化	
		数学	2	F2					
		必 生物統計学	2	F2					
		必 微生物学(一)	2	L2					
		必 生物化学	2	L2				理化	
		必 生物環境科学	2		F2			理地	
		必 分子生物学(一)	2	F2				理生	
		必 動物生理学	2	F2				農	
		必 植物生理学	2	F2				農	
		必 分子細胞生物学	2	L2				理生	
		必 バイオインフォマティクス	2	L2				理生	
		必 英語論文講読	2			L2			
必 基礎化学実験	2	L4				理化			
必 分析化学実験	2	L4				理化			
必 微生物学実験	2		F4			農			
必 生物化学実験	2	F4				理生			
機器分析学	2			L2		理化			

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職		
				一年次	二年次	三年次	四年次			
専門教育科目	専門コア科目	必 微生物学(二)	2		F2					
		必 分子生物学(二)	2		L2			理生		
		必 植物病理学	2		L2			農		
		必 バイオプロセス工学	2		L2			農		
		必 応用微生物学	2			F2		農		
		必 免疫・生体防御学	2			L2		農		
		必 食品衛生概論	2			L2				
		必 食品製造概論	2			L2		農		
		必 分子生物学実験	2		L4			理生		
		必 分子微生物学演習(一)	1		F1					
		必 分子微生物学演習(二)	1		L1					
		必 分子微生物学演習(三)	1			F1				
		必 分子微生物学演習(四)	1			L1				
		選必	複合微生物利用学	2			F2			
			ゲノム情報利用学	2			F2		理生	
			植物共生微生物学	2			F2		農	
			動物共生微生物学	2			F2		農	
			生物資源工学	2			F2		農	
			極限環境生物学	2			F2		理生	
			選必	複合微生物学実験	2			F4		
				植物共生微生物学実験	2			F4		農
				動物共生微生物学実験	2			F4		農
				バイオインフォマティクス実習	2			F4		理生
		生物資源工学実験		2			F4		農	
		実験データ解析概論	2			L2		理化		
		先端分子微生物学概論	2				F2			
		先端分子微生物学技術概論	2				L2			
		学際領域科目	必 食と科学	2			F2		農	
			アイソトープ利用論	2			F2			
			科学メディア論	2			F2			
			知的財産概論	2			L2			
		総合化科目	必 プレゼンテーション演習	2				F2		
必 分子微生物学特別実験	2					L4				
必 卒業論文	4						4			

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○で囲んだ科目」は、教員免許取得の主要科目のため、教職必修科目とする。

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
(c) 専門教育科目	必修科目	72単位
	選択必修科目	6単位
	選択科目	4単位
総合教育科目 + (d) 外国語科目 + 専門教育科目	の選択科目	27単位以上
合計		124単位以上

卒業要件単位数について

- 区分(d)には、次の単位を含めることができる。
 - 1 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。
ただし、合計して30単位を上限とする(他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は16単位)。
 - 2 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - 3 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。
- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
 2 学科基礎科目の選択必修科目は、3科目中から1科目を選び必修とする。
 3 学科専門科目の選択必修科目については、下記のとおりとする。
 (1) 「複合微生物利用学」「ゲノム情報利用学」「植物共生微生物学」「動物共生微生物学」「生物資源工学」の5科目中から1科目を選び必修とする。
 (2) 「複合微生物学実験」「植物共生微生物学実験」「動物共生微生物学実験」「バイオインフォマティクス実習」「生物資源工学実験」の5科目中から1科目を選び必修とする。
 4 外国語科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる(複数の外国語の履修は認めない)。

微生物

生命科学部

地域環境科学部 森林総合科学科

森林

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合教育科目	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2			
		必	共通演習	1	L2			
		必	情報基礎(一)	2	F2			必
		必	情報基礎(二)	2	L2			技
	関係科目	スポーツ	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2			必
		スポーツ	スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2			必
	課題別科目		特別講義(一)	2				
			特別講義(二)	2				
			特別講義(三)	2				
			特別講義(四)	2				
			国際・スタディーズ(一)	2	F2			
			国際・スタディーズ(二)	2	L2			
	就職準備科目		キャリアデザイン	1		F1		
			ビジネスマナー	1		L1		
			インターンシップ	1			L1	
	学部共通科目	リメディア教育科目		基礎生物	2	F2		
				基礎化学	2	F2		
				基礎物理	2	F2		
			基礎数学	2	F2			
			文章表現	2	F2			
外国語科目	全学共通科目	必	英語(一)	2	F2			
		必	英語(二)	2	L2			
		必	英語(三)	2		F2		
		必	英語(四)	2		L2		
	学部共通科目	実用英語科目		英語リーディング	2	F2		
				TOEIC英語初級	2		F2	
				TOEIC英語中級	2		L2	
				科学英語	2		F2	
		初修外国語科目		中国語(一)	2	F2		
				中国語(二)	2	L2		
専門教育科目	人間関係科目	選必	哲学	2	F2			
		選必	科学の歴史	2	L2			
		選必	文学概論	2	L2			
		選必	技術者倫理	2		F2		
	社会関係科目	選必	日本国憲法	2		L2		必
		選必	地域と文化	2		L2		
		選必	現代社会と経済	2		F2		
	自然関係科目	選必	国際関係と社会問題	2		L2		
		選必	生物学	2	F2			理生
		選必	化学	2	F2			理化
		選必	地学	2	F2			理地
		選必	物理学	2	L2			理物
	統計学	2		F2				

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専門教育科目	専門科目	必	地域環境科学概論	2	F2				
			地球環境と炭素循環	2	L2				
	創生型科目		環境学習と体験活動	2		F2			
			源流文化学	2		F2			
	専門基礎科目	必	森林総合科学概論	2	F2			理生	
		必	森林植物学	2	F2			農	
		必	測量学	2	L2			農	
		必	森林保全学	2		F2		農	
		必	造林学	2		F2		農	
		必	森林政策学	2		F2		農	
		必	森林生態学	2		L2		理生	
		必	林産化学	2		F2		理化	
		必	木材工学	2		F2		技	
		必	林業工学	2		L2		技	
		必	森林経営学	2		L2		農	
		専門コア科目		木材組織学	2	F2			技
				森林文化論	2	F2			
				森林地形地質学	2	L2			理地
				樹木生理学	2	L2			理生
			木材物理学	2	L2			理物	
			森林情報学	2	L2			技	
			森林環境学	2		F2			
			森林立地学	2		F2		農	
			きのこ学	2		F2		理生	
			木材化学	2		L2		理化	
			野生生物管理学	2		L2		理生	
			樹病学	2		L2			
			森林情報演習	1		L2			
			林木育種学	2		L2			
			森林アメニティ学	2		L2			
	測樹学	2		L2		農			
	森林教育学	2		L2		農			
	植生学	2			F2				
	森林機械学	2			F2				
	森林計画学	2			F2	農			
	森林水文学	2			F2	理地			
	森林昆虫学	2			F2				
	森林土壌学	2			F2	技			
	造林樹木学	2			F2				
	木質構造学	2			F2	技			
	木材劣化生物学	2			F2	理生			
	山村コミュニティ論	2			F2				

分野	区分	授 業 科 目	単 位 数	週時間数				教 職
				一 年 次	二 年 次	三 年 次	四 年 次	
専 門 教 育 科 目	専門コア科目	緑化学	2			L2		技
		木材保存化学	2			L2		技
		森林環境経済学	2			L2		
		治山工学	2			L2		農
		森林土木実習	2			L4		技
		森林作業システム学	2			L2		
		木質材料学	2			L2		
		建築設計製図法	2			L2		技
		外書講読	2				F2	
	実験・調査計画法	2				F2		
	専門実用科目	木材加工(製図及び実習を含む。)	2		F2			技
		金属加工(製図及び実習を含む。)	2		L2			技
		栽培(実習を含む。)	2		F2			技
		機械(実習を含む。)	2			F2		技
	電気(実習を含む。)	2		L2			技	
	学履修科目		木質バイオマス利用学	2			F2	理化
	総合化科目	必	森林学実験実習(一)	2	F4			農
		必	森林学実験実習(二)	2	L4			農
		必	森林学実験実習(三)	2		F4		農
		必	森林学実験実習(四)	2		L4		農
		必	測量実習	2		F4		農
		必	演習林実習(一)	1	F2			
		必	演習林実習(二)	2		2		
必		専攻実験・実習(一)	2			F4	農	
必		専攻実験・実習(二)	2			L4	農	
必	卒業論文	4				4		

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○で囲んだ科目」は、教員免許取得の主要科目のため、教職必修科目とする。

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
(c) 専門教育科目	必修科目	45単位
	選択必修科目	12単位
	選択科目	30単位
(d) 外国語科目 + 総合教育科目 + 専門教育科目	の選択科目	22単位以上
合 計		124単位以上

卒業要件単位数について

- 区分(d)には、次の単位を含めることができる。
 - 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。ただし、合計して30単位を上限とする。(他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は16単位)。
 - 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
- 2 学科基礎科目の人間関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 3 学科基礎科目の社会関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 4 学科基礎科目の自然関係分野の科目は、5科目中から2科目を選び必修とする。
 - 5 外国語科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる。(複数の外国語の履修は認めない)。
 - 6 測量士補・樹木医補の資格取得については、「学科掲示板」を参照すること。

7 教職課程科目について
 学科専門分野の専門実用科目に配当されている「木材加工(製図及び実習を含む。)」 「金属加工(製図及び実習を含む。)」 「栽培(実習を含む。)」 「機械(実習を含む。)」 「電気(実習を含む。)」 は、教職課程履修者のみ履修することができる。
 ただし、学科の卒業要件単位に含めないで注意すること。

- 8 リメディアル教育科目の履修者は、4月に実施するプレースメントテストにより決定する。(森林総合科学科では、基礎生物、基礎化学、文章表現の3科目を対象とする)

地域環境科学部 生産環境工学科

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必	共通演習	1	L2				
		必	情報基礎(一)	2	F2			必	
		必	情報基礎(二)	2	L2			技	
	関係科目	スポーツ	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2			必	
		スポーツ	スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2			必	
	課題別科目		特別講義(一)	2					
			特別講義(二)	2					
			特別講義(三)	2					
			特別講義(四)	2					
			国際ナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
			国際ナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
	就職準備科目		キャリアデザイン	1		F1			
			ビジネスマナー	1		L1			
			インターンシップ	1			L1		
	学部共通科目	リメディア教育科目		基礎生物	2	F2			
				基礎化学	2	F2			
				基礎物理	2	F2			
			基礎数学	2	F2				
			文章表現	2	F2				
外国語科目	全学共通科目	必	英語(一)	2	F2		必		
		必	英語(二)	2	L2				
		必	英語(三)	2		F2			
		必	英語(四)	2		L2			
	学部共通科目	実用英語科目		英語リーディング	2	F2			
				TOEIC英語初級	2		F2		
				TOEIC英語中級	2		L2		
				科学英語	2		F2		
			初修外国語科目		中国語(一)	2	F2		
					中国語(二)	2	L2		
	ドイツ語(一)	2		F2					
	ドイツ語(二)	2		L2					
専門教育科目	人間関係科目	選必	哲学	2	F2				
		選必	科学の歴史	2	L2				
		選必	文学概論	2	L2				
		選必	技術者倫理	2		F2			
	社会関係科目	選必	日本国憲法	2		L2		必	
		選必	地域と文化	2		L2			
		選必	現代社会と経済	2		F2			
	自然関係科目	選必	国際関係と社会問題	2		L2			
		選必	生物学	2	F2			理生	
		選必	化学	2	F2			理化	
選必		地学	2	F2			理地		
	選必	物理学	2	L2			理物		
	選必	統計学	2		F2				

工学

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専門教育科目	専攻科目	必	地域環境科学概論	2	F2				
			地球環境と炭素循環	2	L2				
	創生型科目		環境学習と体験活動	2		F2			
			源流文化学	2		F2			
	専門基礎科目	必	生産環境工学概論	2	F2			農	
		必	数学	2	F2				
		必	数学演習	2	F2				
		必	基礎力学	2	L2			理物	
		必	基礎力学演習	2	L2			理物	
		必	材料力学	2	L2			技	
		必	熱力学	2	L2			理物	
		必	応用数学	2	L2				
		必	応用数学演習	2	L2				
		必	測量学	2		F2		農	
		必	測量実習	2		F4		農	
		必	生産環境工学基礎演習	1		F2		農	
		必	応用測量学	2		L2		農	
		必	基礎実験	2		L4		技	
		地域資源利用分野		地域資源利用工学	2		F2		農
			地形地質学	2		F2		理地	
			地域環境保全学	2		L2		農	
			農地環境工学	2		F2		農	
			農村計画学	2		L2		農	
			農村環境工学	2		F2			
			土地改良学	2		L2		農	
			国土防災工学	2		L2			
			海外農業開発工学	2			F2	農	
			資源管理制度論	2			F2	農	
	環境情報利用分野		必	環境土壌物理学	2		F2		理物
			必	土質力学	2		L2		理物
必		土質力学演習	2		L2		理物		
		環境気象学	2	L2			理地		
		情報処理工学	2		L2		理地		
		環境物理学	2		F2		理物		
		流域水文学	2		F2		理地		
		広域環境情報学	2		F2		技		
		地水環境工学	2		L2		農		
環境基盤創成分野	必	環境リモートセンシング工学	2		L2		理地		
	必	構造力学	2		F2		理物		
	必	構造力学演習	2		F2		理物		
	必	水理学	2		L2		理物		
	必	水理学演習	2		L2		理物		

分野	区分	授 業 科 目	単 位 数	週時間数				教 職		
				一 年 次	二 年 次	三 年 次	四 年 次			
専 門 教 育 科 目	環境 基 盤 創 成 分 野	土木材料学	2		F2			農		
		鉄筋コンクリート工学	2		L2			技		
		社会基盤工学	2			F2		技		
		土木施工法	2			F2				
		水利施設工学	2			F2		農		
		環境土木学	2			L2				
	専 門 コ ア 科 目	機 械 シ ス テ ム 創 成 分 野	河川工学	2				F2	農	
			エネルギー工学	2		F2			農	
		生産機械情報工学	2		F2			農		
		機械力学	2		L2			技		
		電気・電子工学	2		L2			技		
		食品工学	2		L2					
		計測・制御工学	2			F2		技		
		農業・建設機械学	2			F2		技		
		農産加工流通工学	2			F2		技		
		設計製図	2			L2		技		
		バイオロボティクス	2			L2		技		
		専 門 実 用 科 目		木材加工(製図及び実習を含む。)	2		F2			技
				金属加工(製図及び実習を含む。)	2		L2			技
				栽培(実習を含む。)	2		F2			技
	機械(実習を含む。)		2			F2		技		
	電気(実習を含む。)		2		L2			技		
学 際 領 域		土と水の環境	2	L2				理地		
		作物栽培学	2		L2					
総 合 化 科 目	必	専攻実験	2			F4		農		
	必	専攻演習(一)	2			L2		農		
	必	専攻演習(二)	2				F2	農		
	必	専攻演習(三)	2				L2			
	必	卒業論文	4					4		
		生産環境工学特別演習	2				2			

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○」で囲んだ科目は、教員免許取得の主要科目のため、教職必修科目とする。

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
(c) 専門教育科目	必修科目	55単位
	選択必修科目	12単位
	選択科目	20単位
(d) 総合教育科目 + 外国語科目 + 専門教育科目	の選択科目	22単位以上
合 計		124単位以上

卒業要件単位数について

- 区分(d)には、次の単位を含めることができる。
 - 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。
ただし、合計して30単位を上限とする。
(他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は16単位)。
 - 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
- 2 学科基礎科目の人間関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 3 学科基礎科目の社会関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 4 学科基礎科目の自然関係分野の科目は、5科目中から2科目を選び必修とする。
 - 5 外国語科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる。(複数の外国語の履修は認めない)。
 - 6 3年次より選択する生産環境コース、技術者養成コースについては「生産環境工学ガイド」を参照すること。
 - 7 測量士補の資格取得については、「生産環境工学ガイド」を参照すること。

8 教職課程科目について
学科専門分野の専門実用科目に配当されている「木材加工(製図及び実習を含む。)」 「金属加工(製図及び実習を含む。)」 「栽培(実習を含む。)」 「機械(実習を含む。)」 「電気(実習を含む。)」は、教職課程履修者のみ履修することができる。
ただし、学科の卒業要件単位に含めないで注意すること。

- 9 リメディアル教育科目の履修者は、4月に実施するブレインテストにより決定する。(生産環境工学科では、基礎物理、基礎数学、文章表現の3科目を対象とする)

地域環境科学部 造園科学科

造園

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合教育科目	導入科目	必修	フレッシュマンセミナー	2	F2			
		必修	共通演習	1	L2			
		必修	情報基礎(一)	2	F2			必
		必修	情報基礎(二)	2	L2			
	関係科目	スポーツ	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2			必
		スポーツ	スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2			必
	課題別科目		特別講義(一)	2				
			特別講義(二)	2				
			特別講義(三)	2				
			特別講義(四)	2				
			国際ナショナル・スタディーズ(一)	2	F2			
			国際ナショナル・スタディーズ(二)	2	L2			
			インターンシップ	1		F1		
	就職準備科目		キャリアデザイン	1		F1		
			ビジネスマナー	1		L1		
			インターンシップ	1			L1	
	学部共通科目	リメディア教育科目		基礎生物	2	F2		
				基礎化学	2	F2		
				基礎物理	2	F2		
				基礎数学	2	F2		
			文章表現	2	F2			
			文章表現	2	F2			
外国語科目	全学共通科目	必修	英語(一)	2	F2		必	
		必修	英語(二)	2	L2			
		必修	英語(三)	2		F2		
		必修	英語(四)	2	L2			
	学部共通科目	実用英語科目		英語リーディング	2	F2		
				TOEIC英語初級	2		F2	
				TOEIC英語中級	2		L2	
				科学英語	2		F2	
		初修外国語科目		中国語(一)	2	F2		
				中国語(二)	2	L2		
専門教育科目	人間関係科目	選必修	哲学	2	F2			
		選必修	科学の歴史	2	L2			
		選必修	文学概論	2	L2			
		選必修	技術者倫理	2		L2		
		選必修	日本国憲法	2	L2		必	
		選必修	地域と文化	2	L2			
		選必修	現代社会と経済	2		F2		
	自然関係科目	選必修	国際関係と社会問題	2		L2		
		選必修	生物学	2	F2		(理生)	
		選必修	化学	2	F2		(理化)	
		選必修	地学	2	F2		(理地)	
		選必修	物理学	2	L2		(理物)	
		選必修	統計学	2		F2		
		選必修	統計学	2		F2		

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専門教育科目	専門共通科目	必修	地域環境科学概論	2	F2				
			地球環境と炭素循環	2	L2				
	創生型科目		環境学習と体験活動	2		F2			
			源流文化学	2		F2			
	専門基礎科目	必修	造園科学概論	2	F2			(農)	
		必修	造園体験演習	2	F2				
		必修	環境デザイン基礎演習	2	L2			(農)	
		必修	花・緑演習	2	L2			理生	
		必修	測量実習	2		F4		(農)	
			CAD及びGIS基礎演習	2		F2			
			緑の経済論	2		F2			
			ランドスケープ作品論	2		F2		農	
		環境計画・設計分野	必修	造園計画学	2		F2		(農)
			必修	近代造園史	2		L2		
	必修		都市緑地計画学	2			F2	(農)	
	必修		風景地計画学	2			F2	農	
	必修		日本庭園論	2			F2	農	
			景観論	2	L2				
			ランドスケープデザイン論	2		L2			
			公園マネージメント論	2			F2		
	自然保護論		2			L2	理地		
	観光計画論		2			L2			
ランドスケープ資源・植物分野		都市および農村計画	2			L2			
		ランドスケープ政策論	2			L2			
	必修	植物の生活と活用	2	L2			理生		
	必修	造園樹木学	2	L2			(農)		
	必修	グラウンドカバープランツ	2		F2		理生		
	必修	緑地生態学	2		L2		理生		
	必修	造園植栽学	2		L2		農		
		芝生論	2			F2			
		植栽基盤論	2			F2	農		
		樹木の保護と管理	2			L2	理生		
景観建設・技術分野		緑地の生きもの	2			L2	理生		
	必修	造園工学基礎演習	2		F2		理物		
	必修	測量学	2		F2		農		
	必修	造園施設材料	2		L2		農		
	必修	造園工学	2			F2	農		
	必修	造園施工論	2			L2	農		
	造園施設設計	2			L2				

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
専門教育科目	選必	専門特化演習(一)(植物学)	4				F4	理生	
		専門特化演習(一)(都市緑化)	4				F4		
		専門特化演習(一)(自然再生)	4				F4		
		専門特化演習(一)(環境デザイン)	4				F4		
	選必	専門特化演習(二)(植栽基盤)	4				L4		
		専門特化演習(二)(建築デザイン)	4				L4		
		専門特化演習(二)(エンジニア)	4				L4		
		専門特化演習(二)(伝統技法)	4				L4		
	総合化科目	必	造園植栽演習	4		L4			
		必	造園工学演習	4			F4		
		必	造園総合演習	4			L4		
		必	専攻研究	2			L2		
		必	造園総合論	2				L2	
		必	卒業論文(卒業制作)	4					4

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○」で囲んだ科目は、教員免許取得の主要科目のため、教職必修科目とする。

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
(c) 専門教育科目	必修科目	62単位
	選択必修科目	20単位
	選択科目	6単位
(d) 総合教育科目 + 外国語科目 + 専門教育科目	の選択科目	21単位以上
合計		124単位以上

卒業要件単位数について

- 区分(d)には、次の単位を含めることができる。
 - 1 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。
ただし、合計して30単位を上限とする。
(他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は16単位)。
 - 2 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - 3 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
- 2 学科基礎科目の人間関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 3 学科基礎科目の社会関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 4 学科基礎科目の自然関係分野の科目は、5科目中から2科目を選び必修とする。
 - 5 外国語科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる。(複数の外国語の履修は認めない)。
 - 6 「技術者倫理」は、JABEEプログラムで定められた必須の科目であるため、必ず履修すること。
 - 7 樹木医補および自然再生士補の資格取得、造園環境情報コース(測量士補の資格取得)対象科目については、造園科学科指針を参照すること。
 - 8 専門特化演習(一)、専門特化演習(二)は、4コースから1コースを選び必修とする。
 - 9 リメディアル科目の履修者は、4月に実施するプレイスメントテストにより決定する。(造園科学科では、基礎生物、基礎数学、文章表現の3科目を対象とする)。

地域環境科学部 地域創成科学科

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合教育科目	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2			
		必	共通演習	1	L2			
		必	情報基礎(一)	2	F2			必
		必	情報基礎(二)	2	L2			
	関係科目	スポーツ	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2			必
		スポーツ	スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2			必
	課題別科目		特別講義(一)	2				
			特別講義(二)	2				
			特別講義(三)	2				
			特別講義(四)	2				
			国際ナショナル・スタディーズ(一)	2	F2			
			国際ナショナル・スタディーズ(二)	2	L2			
	就職準備科目		キャリアデザイン	1		F1		
			ビジネスマナー	1		L1		
			インターンシップ	1			L1	
	学部共通科目	リメディア教育科目		基礎生物	2	F2		
				基礎化学	2	F2		
				基礎物理	2	F2		
				基礎数学	2	F2		
			文章表現	2	F2			
外国語科目	全学共通科目	必	英語(一)	2	F2		必	
		必	英語(二)	2	L2			
		必	英語(三)	2		F2		
		必	英語(四)	2		L2		
	学部共通科目	実用英語科目		英語リーディング	2	F2		
				TOEIC英語初級	2		F2	
				TOEIC英語中級	2		L2	
				科学英語	2		F2	
		初修外国語科目		中国語(一)	2	F2		
				中国語(二)	2	L2		
	ドイツ語(一)		2	F2				
	ドイツ語(二)		2	L2				
専門教育科目	人間関係科目	選必	哲学	2	F2			
		選必	科学の歴史	2	L2			
		選必	文学概論	2	L2			
		選必	技術者倫理	2		F2		
	社会関係科目	選必	日本国憲法	2		L2		必
		選必	地域と文化	2		L2		
		選必	現代社会と経済	2		F2		
		選必	国際関係と社会問題	2		L2		
	自然関係科目	選必	生物学	2	F2			
		選必	化学	2	F2			
選必		地学	2	F2				
選必		物理学	2	L2				
選必		統計学	2		F2			

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門教育科目	専門科目	必	地域環境科学概論	2	F2			
			地球環境と炭素循環	2	L2			
	創生科目		環境学習と体験活動	2		F2		
			源流文化学	2		F2		
	専門基礎科目	必	農学概論	2	F2			農
		必	基礎植物学	2	F2			農
		必	地域環境論	2	F2			農
		必	実用数物科学	2	F2			
		必	里山生態学概論	2	L2			農
		必	施設材料学	2	L2			農
		必	農村・都市交流論	2	L2			
		必	測量学	2		F2		農
		必	保全生態学	2	F2			農
		必	野生動物と生息環境	2	F2			
		必	景観生態学	2	F2			農
		必	土と水の科学	2	F2			
		必	環境植物学	2	F2			農
		必	自然再生施工論	2	L2			
		必	農域防災論	2	L2			農
		必	環境教育学	2	L2			
		必	合意形成デザイン論	2	L2			
		専門コア科目		野生動物資源の管理	2	L2		
	必		農域物質循環論	2		F2		農
	必		地域環境計画学	2		F2		農
			群集生態学	2		F2		
			植栽技術論	2		F2		農
			農域植生学	2		F2		
			樹木医学概論	2		F2		
			農業基盤工学	2		F2		農
			地域環境政策学	2		F2		
必	農域空間情報論		2		L2		農	
	環境修復論		2		L2		農	
	作物栽培管理学		2		L2			
学際領域		土壌肥科学	2		L2			
		農地保全学	2		L2		農	
		河川水文学	2		L2		農	
		文化産業・観光計画学	2		L2			
	必	地域創成関連法規	2			L2		
		農と伝統文化	2			F2		
		農と健康	2			F2		
	必	地理情報システム論	2		L2			
必	環境アセスメント論	2		F2				

創成

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門教育科目	総合化科目	必	地域交流実習	2	F2			
		必	地域創成フィールド実習(一)	2	L2			農
		必	地域創成フィールド実習(二)	2		F2		農
		必	測量実習	2		F2		農
		必	地域創成総合実習(一)	2		F2		
		必	地域創成総合実習(二)	2		L2		
			農山漁村インターンシップ	2			F2	
		必	専攻実験・実習(一)	2			L2	
		必	専攻実験・実習(二)	2				F2
		必	卒業論文	4				4

区分欄の必は必修科目，選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○で囲んだ科目」は、教員免許取得の主要科目のため、教職必修科目とする。

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
(c) 専門教育科目	必修科目	68単位
	選択必修科目	12単位
	選択科目	16単位
(d) 総合教育科目 + 外国語科目 + 専門教育科目	の選択科目	13単位以上
合計		124単位以上

卒業要件単位数について

- 区分(d)には、次の単位を含めることができる。
 - 1 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。
ただし、合計して30単位を上限とする。
(他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は16単位)。
 - 2 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - 3 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目，Lは後学期配当科目を表す。
- 2 学科基礎科目の人間関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 3 学科基礎科目の社会関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 4 学科基礎科目の自然関係分野の科目は、5科目中から2科目を選び必修とする。
 - 5 外国語科目の初修外国語は、在学中1ヶ国語のみ履修することができる。(複数の外国語の履修は認めない)。
 - 6 リメディアル科目の履修者は、4月に実施するプレイスメントテストにより決定する。(地域創成科学科では、基礎生物、基礎数学、文章表現の3科目を対象とする)。

国際食料情報学部 国際農業開発学科

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合 教育 科目	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 共通演習	1	L2				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
		必 情報基礎(二)	2	L2				
	関係科目 スポーツ	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
	課題別科目	特別講義(一)	2					
		特別講義(二)	2					
		特別講義(三)	2					
		特別講義(四)	2					
	就職準備科目	インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		キャリアデザイン	1		F1			
	学部共通科目 リテラシー教育科目	ビジネスマナー	1		F1			
		インターンシップ	1			L1		
		基礎数学	2	F2				
	学部共通科目	基礎社会	2	F2				
		文章表現	2	F2				
		英語(一)	2	F2				必
	学部共通科目	英語(二)	2	L2				
英語(三)		2		F2				
英語(四)		2		L2				
外国語 科目	実用英語科目 選必	TOEIC英語(一)	2	F2				
		TOEIC英語(二)	2	L2				
		英語リーディング(一)	2		F2			
		英語リーディング(二)	2		L2			
		英会話(一)	2		F2			
		英会話(二)	2		L2			
		科学英語	2			F2		
		ビジネス英語	2				L2	
	初修外国語科目	中国語(一)	2	F2				
		中国語(二)	2	L2				
		中国語(三)	2		F2			
		中国語(四)	2		L2			
		フランス語(一)	2	F2				
		フランス語(二)	2	L2				
学部共通科目	フランス語(三)	2		F2				
	フランス語(四)	2		L2				
	スペイン語(一)	2	F2					
	スペイン語(二)	2	L2					
	スペイン語(三)	2		F2				
	スペイン語(四)	2		L2				
	ブラジル・ポルトガル語(一)	2	F2					
	ブラジル・ポルトガル語(二)	2	L2					
	インドネシア語(一)	2	F2					
	インドネシア語(二)	2	L2					
学部共通科目	タイ語(一)	2	F2					
	タイ語(二)	2	L2					
	ハングル・韓国語(一)	2	F2					
	ハングル・韓国語(二)	2	L2					

開発

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
学 科 基 礎 科 目	人間関係科目 選必	哲学	2	F2				
		日本史	2	L2				
		文化人類学	2	L2				
		環境倫理	2		F2			
	社会関係科目 選必	法学入門	2	F2				
		政治のしくみ	2	F2				
		日本国憲法	2	L2				必
		地理学	2		L2			
	自然関係科目 選必	生物学	2	F2				(理生)
		化学	2	F2				(理化)
		数学	2	L2				
		物理学	2	L2				(理物)
	専門 教育 科目	地学	2		L2			(理地)
		栽培学入門	2	F2				
経営学入門		2	L2					
経済学入門		2	L2					
専 門 科 目	専門共通科目	畜産学入門	2		F2			農
		統計基礎	2		F2			
		地域再生・活性化	2	F2				
		創生型 専門基 礎科目	必 農業農村開発学総論	2	F2			(農)
	専門 科目 専 門 科 目	必 熱帯農業入門	2	F2				(農)
		必 農業環境科学総論	2	F2				理生
		必 栽培学原論	2	F2				理生
		必 熱帯作物保護学総論	2	L2				理生
		必 熱帯作物学総論	2	L2				農
		必 熱帯園芸学総論	2	L2				農
専 門 科 目	専門コア科目	必 農業経済学	2	L2				(農)
		必 農業経営学	2		L2			農
		必 植物学	2		F2			理生
		必 農村開発社会学	2		F2			農
		必 熱帯土壌学	2		L2			農
		必 農業開発経済学	2		L2			農
		熱帯植物生態学	2	L2				理生
		熱帯食用作物学	2		F2			農
		熱帯野菜学	2		F2			農
		作物害虫学	2		F2			理生
		作物病理学	2		F2			理生
		国際農業協力論	2		F2			農
		熱帯果樹学	2		L2			農
		熱帯農業微生物学	2			F2		農
熱帯昆虫生態学	2			F2		理生		
食料生産環境学	2			F2		理生		
農業普及論	2			F2		農		
作物育種学	2			L2		理生		
野生動物管理学	2			L2		理生		
国際農業経済論	2			L2		農		
比較農業論	2			L2		農		

分野	区分	授 業 科 目	単 位 数	週時間数				教 職	
				一 年 次	二 年 次	三 年 次	四 年 次		
専 門 学 科 教 育 科 目	総合化科目	必 農業総合実習	2	4				農	
		必 農学基礎実験	2		F4			農	
		必 農業専門実習	2		4			農	
		必 農業開発実習	2			4		農	
		必 卒業論文演習(一)	2			F2			
		必 卒業論文演習(二)	2			L2			
		必 卒業論文演習(三)	2				F2		
		必 卒業論文演習(四)	2				L2		
		必 卒業論文	4				4		
			ファームステイ	2	4				農
			農学専門実験	2			F4		農
			海外農業実習(一)	2			L4		農
			海外農業実習(二)	2			L4		農
			海外農業実習(三)	2			L4		農
			農村開発協力論セミナー	2				F2	
			フィールド調査	2				L2	

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○で囲んだ科目」は、教員免許取得の主要科目のため、教職必修科目とする。

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
	選択必修科目	4単位
(c) 専門教育科目	必修科目	46単位
	選択必修科目	12単位
	選択科目	20単位
総合教育科目 + (d) 外国語科目 + 専門教育科目		の選択科目
合 計		124単位以上

卒業要件単位数について

- 区分(d)には、次の単位を含めることができる。
 - 1 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。
ただし、合計して30単位を上限とする。
(他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は16単位)。
 - 2 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - 3 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
- 2 外国語科目の実用英語科目は、8科目中から2科目を選び必修とする。
 - 3 外国語科目の初修外国語科目は、全科目についてステップ制とする(各外国語について、(一)の単位を修得しなければ(二)、(二)の単位を修得しなければ(三)、(三)の単位を修得しなければ(四)を履修できないという制度)。
 - 4 学科基礎科目の人間関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 5 学科基礎科目の社会関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 6 学科基礎科目の自然関係分野の科目は、5科目中から2科目を選び必修とする。

開発

国際食料情報学部

国際食料情報学部 食料環境経済学科

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職	
				一年次	二年次	三年次	四年次		
総合教育科目	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2					
		必 共通演習	1	L2					
		必 情報基礎(一)	2	F2				必	
		必 情報基礎(二)	2	L2					
	関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必	
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必	
	課題別科目	特別講義(一)	2						
		特別講義(二)	2						
		特別講義(三)	2						
		特別講義(四)	2						
	就職準備科目	インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2					
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2					
		キャリアデザイン	1		F1				
	学部共通科目	ビジネスマナー	1		F1				
		インターンシップ	1			L1			
		基礎数学	2	F2					
	リマ教育科目	基礎社会	2	F2					
		文章表現	2	F2					
		英語(一)	2	F2				必	
	外国語科目	基盤英語科目	必 英語(二)	2	L2				
必 英語(三)			2		F2				
必 英語(四)			2		L2				
必 英語(四)			2		L2				
実用英語科目		選必	TOEIC英語(一)	2		F2			
			TOEIC英語(二)	2		L2			
			英語リーディング(一)	2			F2		
			英語リーディング(二)	2			L2		
		英会話(一)	2			F2			
		英会話(二)	2			L2			
		科学英語	2				F2		
		ビジネス英語	2				L2		
		初修外国語科目	中国語(一)	2	F2				
			中国語(二)	2	L2				
			中国語(三)	2		F2			
			中国語(四)	2		L2			
フランス語(一)	2		F2						
フランス語(二)	2		L2						
フランス語(三)	2			F2					
フランス語(四)	2			L2					
スペイン語(一)	2		F2						
スペイン語(二)	2		L2						
スペイン語(三)	2			F2					
スペイン語(四)	2			L2					
ブラジル・ポルトガル語(一)	2	F2							
ブラジル・ポルトガル語(二)	2	L2							
インドネシア語(一)	2	F2							
インドネシア語(二)	2	L2							
タイ語(一)	2	F2							
タイ語(二)	2	L2							
ハングル・韓国語(一)	2	F2							
ハングル・韓国語(二)	2	L2							

経済

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
学科学科基礎科目	人間関係科目	選必 哲学	2	F2				
		選必 日本史	2	L2				(社地)
		選必 文化人類学	2	L2				
		選必 環境倫理	2		F2			
	社会関係科目	選必 法学入門	2	F2				(社公)
		選必 政治のしくみ	2	F2				社公
		選必 日本国憲法	2	L2				必
		選必 地理学	2		L2			(社地)
	自然関係科目	選必 生物学	2	F2				
		選必 化学	2	F2				
		選必 数学	2	L2				
		選必 物理学	2	L2				
	専門共通科目	選必 地学	2		L2			
		専門 栽培学入門	2	F2				
		専門 経営学入門	2	L2				社公
		専門 経済学入門	2	L2				
	創生型科目	専門 畜産学入門	2		F2			農
		専門 統計基礎	2		F2			
		専門 地域再生・活性化	2	F2				農
		専門 食料環境経済学演習(一)	2	F2				(農)
学科学科専門科目	専門基礎科目	必 食料環境経済学演習(二)	2	L2				(農)
		必 食料環境経済学演習(三)	2		F2			(農)
		必 食料環境経済学演習(四)	2		L2			農
		必 ミクロ経済学(一)	2	F2				(社公)
	必 農業経済学	2	L2				社地	
	必 マクロ経済学	2		F2			(社公)	
	必 食料経済学	2		F2			(農)	
	必 環境経済学	2		F2			(農)	
	必 フィールド研修	2		2			(農)	
	選必	食品マーケティング論	2		F2			農
		食品産業論	2			F2		農
		国際農業経済論	2		F2			
		農業経営学	2		F2			
		農業政策論	2		F2			農
		資源経済学	2		F2			社公
		環境政策論	2		L2			農
環境社会学		2		L2			社公	
都市経済論		2		L2			社地	
公共経済学		2		L2			社公	
国際フードシステム論		2		L2				
食料政策論		2			F2		農	
農村政策論	2			F2		農		
地域計画論	2			F2		社地		
農業貿易論	2			L2		農		
食品マーケティング戦略論	2			L2		農		

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専 門 教 育 科 目	専 門 コ ア 科 目	経済地理学	2	F2				社地
		グローバル経済論	2	F2				社公
		環境経済史	2	L2				社地
		ミクロ経済学(二)	2	L2				社公
		行政学	2		F2			社公
		農業史	2		F2			社地
		農村社会学	2		F2			社公
		財政学	2		L2			社公
		企業と会計	2		L2			社公
		アメリカ・EU農業経済論	2		L2			社地
		経済経営のための数学	2		L2			農
		社会調査	2			F2		社公
		新エネルギー論	2			F2		
		農産物市場論	2			F2		
		金融論	2			F2		農
		計量経済学	2			F2		社公
		環境経済評価	2			F2		
		アジア農業経済論	2			F2		社地
		フィールドリサーチ(一)	1			F1		社地
		フィールドリサーチ(二)	1			L1		社地
	経済統計論	2			L2		社公	
	協同組合論	2			L2		農	
	食品関係法	2			L2		農	
	特別演習(一)	1			F1			
	特別演習(二)	1			L1			
	特別演習(三)	1			F1			
	特別演習(四)	1			L1			
	専 門 実 用 科 目		外国史	2		L2		(社地)
		地誌	2		F2		(社地)	
学 際 科 目 域		社会経済学	2		L2		社公	
		農業思想論	2		F2		農	
総 合 化 科 目	必	食料環境経済学演習(五)	2		F2			
	必	食料環境経済学演習(六)	2		L2			
	必	食料環境経済学演習(七)	2			F2		
	必	食料環境経済学演習(八)	2			L2		
	必	卒業論文	4				4	
		食料環境経済学総合演習(一)	2			F2		
	食料環境経済学総合演習(二)	2			L2			

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
	選択必修科目	4単位
(c) 専門教育科目	必修科目	32単位
	選択必修科目	32単位
	選択科目	24単位
(d) 総合教育科目 + 外国語科目 + 専門教育科目	の選択科目	17単位以上
合 計		124単位以上

卒業要件単位数について

- 区分(d)には、次の単位を含めることができる。
 - 1 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。
ただし、合計して30単位を上限とする。
(他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は16単位)。
 - 2 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - 3 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
- 2 外国語科目の実用英語科目は、8科目中から2科目を選び必修とする。
 - 3 外国語科目の初修外国語科目は、全科目についてステップ制とする(各外国語について、(一)の単位を修得しなければ(二)、(二)の単位を修得しなければ(三)、(三)の単位を修得しなければ(四)を履修できないという制度)。
 - 4 学科基礎科目の人間関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 5 学科基礎科目の社会関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 6 学科基礎科目の自然関係分野の科目は、5科目中から2科目を選び必修とする。
 - 7 専門基礎科目の選択必修科目は16科目中10科目を選び必修とする。

- | |
|--|
| 8 教職課程科目について
学科専門分野の専門実用科目に配当されている「外国史」「地誌」は、教職課程履修者のみ履修することができる。
ただし、学科の卒業要件単位に含めないで注意すること。 |
|--|

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○」で囲んだ科目は、教員免許取得の主要科目のため、教職必修科目とする。

国際食料情報学部 国際バイオビジネス学科

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合 教育 科目	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 共通演習	1	L2				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
		必 情報基礎(二)	2	L2				情
	関係科目 スポーツ	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
	課題別科目	特別講義(一)	2					
		特別講義(二)	2					
		特別講義(三)	2					
		特別講義(四)	2					
	就職準備科目	インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		キャリアデザイン	1		F1			
	学部共通科目 リスニング	ビジネスマナー	1		F1			
		インターンシップ	1			L1		
		基礎数学	2	F2				
	学部共通科目 ライティング	基礎社会	2	F2				
		文章表現	2	F2				
		英語(一)	2	F2				必
	外国語 科目	基盤英語科目	必 英語(二)	2	L2			
必 英語(三)			2		F2			
必 英語(四)			2		L2			
必 英語(一)			2	F2				
実用英語科目		TOEIC英語(一)	2	F2				
		TOEIC英語(二)	2	L2				
		英語リーディング(一)	2		F2			
		英語リーディング(二)	2		L2			
		英会話(一)	2		F2			
		英会話(二)	2		L2			
		科学英語	2			F2		
		ビジネス英語	2			L2		
学部共通科目 初修外国語科目		中国語(一)	2	F2				
		中国語(二)	2	L2				
		中国語(三)	2		F2			
		中国語(四)	2		L2			
	フランス語(一)	2	F2					
	フランス語(二)	2	L2					
	フランス語(三)	2		F2				
	フランス語(四)	2		L2				
	スペイン語(一)	2	F2					
	スペイン語(二)	2	L2					
	スペイン語(三)	2		F2				
	スペイン語(四)	2		L2				
ブラジル・ポルトガル語(一)	2	F2						
ブラジル・ポルトガル語(二)	2	L2						
インドネシア語(一)	2	F2						
インドネシア語(二)	2	L2						
タイ語(一)	2	F2						
タイ語(二)	2	L2						
ハンゲル・韓国語(一)	2	F2						
ハンゲル・韓国語(二)	2	L2						

ビジネス

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門 教育 科目	人間関係科目 選必	哲学	2	F2				
		日本史	2	L2				社
		文化人類学	2	L2				
		環境倫理	2		F2			
	社会関係科目 選必	法学入門	2	F2				社
		政治のしくみ	2	F2				社
		日本国憲法	2	L2				必
		地理学	2		L2			社
	自然関係科目 選必	生物学	2	F2				
		化学	2	F2				
		数学	2	L2				
		物理学	2	L2				
	専門共通科目	地学	2		L2			
		栽培学入門	2	F2				
		経営学入門	2	L2				社
		経済学入門	2	L2				
	専門基礎科目 創生型	畜産学入門	2		F2			農
		統計基礎	2		F2			
		地域再生・活性化	2	F2				
		国際バイオビジネス基礎演習(一)	2	F2				農
専門基礎科目	必 国際バイオビジネス基礎演習(二)	1	L1				農	
	必 国際バイオビジネス基礎演習(三)	2		F2			農	
	必 国際バイオビジネス基礎演習(四)	2		L2			農	
	必 バイオビジネス経済学(一)(ミクロ)	2	F2				社	
	必 バイオビジネス経済学(二)(マクロ)	2	L2				社	
	必 バイオビジネス経営学総論	2	F2				農	
	必 バイオビジネス経営環境論	2	F2				農	
	必 バイオビジネス経営情報論	2	L2				情	
	必 バイオビジネス経営学会計学	2	L2				農	
	必 バイオビジネス実地研修(一)	2		2			農	
	必 バイオビジネスマーケティング論(一)	2		F2			農	
	必 国際地域農業論	2		F2			農	
	必 バイオビジネス経営管理論	2		F2			農	
	必 バイオビジネス財務会計論	2		F2			社	
	必 バイオビジネス経営実践論	2		L2			農	
	必 農業経営・制度展開論	2		L2			農	
必 バイオビジネス経営戦略論	2		L2			社		
必 バイオビジネス経営組織論	2			F2		社		
農業マネジメント論	2		F2			農		
バイオビジネス統計学(一)	2			F2				

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専 門 教 育 科 目	選 必	バイオビジネス会計学演習	2	L2				情
		バイオビジネス経営情報論演習	2		F2			
		バイオビジネス経営学演習	2		F2			
		バイオビジネス統計学演習	2		L2			
		商品企画演習	2		L2			
		情報ネットワーク論	2	F2			情	
		プログラム言語	2	F2			情	
		バイオビジネス情報システム論	2	L2			情	
		フードビジネス論	2	L2			農	
		バイオビジネスマーケティング論(二)	2	L2			農	
		地域農業活性化論	2		F2		農	
		マーケティングリサーチ	2		F2		農	
		バイオビジネス法	2		F2		社	
		データベース論	2		F2		情	
		バイオビジネス経営分析論	2		F2		社	
		バイオビジネス統計学(二)	2		L2			
		オペレーションズ・リサーチ	2		L2		情	
		オペレーションズ・リサーチ演習	2		L2		情	
	マルチメディア論	2		L2		情		
	基本情報処理演習	2		L2		情		
	バイオビジネスと環境	2		L2		社		
	バイオビジネスと地域開発	2		L2		社		
	専 門 実 用 科 目	情報社会及び情報倫理	2	F2			情	
		情報と職業	2	L2			情	
		外国史	2	L2			社	
		地誌	2		F2		社	
	総 合 化 科 目	必 卒業論文演習 (一)	2		F2			
		必 卒業論文演習 (二)	2		L2			
必 卒業論文演習 (三)		2			F2			
必 卒業論文演習 (四)		2			L2			
必 卒業論文		4			4			
バイオビジネス実地研修 (二)		2			2			
英文論文執筆法		2			F2			
ビジネススキル	2			L2				

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○で囲んだ科目」は、教員免許取得の主要科目のため、教職必修科目とする。

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
	選択必修科目	4単位
(c) 専門教育科目	必修科目	49単位
	選択必修科目	16単位
	選択科目	10単位
(d) 総合教育科目 + 外国語科目 + 専門教育科目	の選択科目	30単位以上
合計		124単位以上

卒業要件単位数について

- 区分(d)には、次の単位を含めることができる。
 - 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。
ただし、合計して30単位を上限とする。
(他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は16単位)。
 - 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
- 外国語科目の実用英語科目は、8科目中から2科目を選び必修とする。
 - 外国語科目の初修外国語科目は、全科目についてステップ制とする(各外国語について、(一)の単位を修得しなければ(二)、(二)の単位を修得しなければ(三)、(三)の単位を修得しなければ(四)を履修できないという制度)。
 - 学科基礎科目の人間関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 学科基礎科目の社会関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 学科基礎科目の自然関係分野の科目は、5科目中から2科目を選び必修とする。
 - 専門教育科目のうち「専門コア科目」の選択必修科目については、5科目中から2科目を選び、必修とする。どの分野から選択しても構わない。

8 教職課程科目について
 学科専門分野の専門実用科目に配当されている「情報社会及び情報倫理」「情報と職業」「外国史」「地誌」は、教職課程履修者のみ履修することができる。
 ただし、学科の卒業要件単位に含めないで注意すること。

国際食料情報学部 国際食農科学科

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
総合 教育 科目	導入科目	必 フレッシュマンセミナー	2	F2				
		必 共通演習	1	L2				
		必 情報基礎(一)	2	F2				必
		必 情報基礎(二)	2	L2				
	関係科目 スポーツ	スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
		スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
	課題別科目	特別講義(一)	2					
		特別講義(二)	2					
		特別講義(三)	2					
		特別講義(四)	2					
	就職準備科目	インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
		インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		キャリアデザイン	1		F1			
	学部共通科目	ビジネスマナー	1		F1			
		インターンシップ	1			L1		
		基礎数学	2	F2				
	リテラシー教育科目	基礎社会	2	F2				
		文章表現	2	F2				
		英語(一)	2	F2				必
	外国語 科目	英語	必 英語(二)	2	L2			
必 英語(三)			2		F2			
必 英語(四)			2		L2			
選 英語(一)			2		F2			
実用英語科目		TOEIC英語(一)	2		F2			
		TOEIC英語(二)	2		L2			
		英語リーディング(一)	2			F2		
		英語リーディング(二)	2			L2		
		英会話(一)	2			F2		
		英会話(二)	2			L2		
学部共通科目	初修外国語科目	科学英語	2			F2		
		ビジネス英語	2			L2		
	中国語(一)	2	F2					
	中国語(二)	2	L2					
	中国語(三)	2		F2				
	中国語(四)	2		L2				
	フランス語(一)	2	F2					
	フランス語(二)	2	L2					
	フランス語(三)	2		F2				
	フランス語(四)	2		L2				
	スペイン語(一)	2	F2					
	スペイン語(二)	2	L2					
	スペイン語(三)	2		F2				
	スペイン語(四)	2		L2				
	ブラジル・ポルトガル語(一)	2	F2					
	ブラジル・ポルトガル語(二)	2	L2					
インドネシア語(一)	2	F2						
インドネシア語(二)	2	L2						
タイ語(一)	2	F2						
タイ語(二)	2	L2						
ハンゲル・韓国語(一)	2	F2						
ハンゲル・韓国語(二)	2	L2						

食農

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門 教育 科目	人間関係科目 学 科 基 礎 科 目	選 必	哲学	2	F2			
			日本史	2	L2			
			文化人類学	2	L2			
			環境倫理	2		F2		
		選 必	法学入門	2	F2			
			政治のしくみ	2	F2			
			日本国憲法	2	L2			必
		選 必	地理学	2		L2		
			生物学	2	F2			
			化学	2	F2			
	数学		2	L2				
	専門 共 通 科 目	物理学	2	L2				
		地学	2		L2			
		栽培学入門	2	F2				
		経営学入門	2	L2				
	創 生 型 科 目	経済学入門	2	L2				
		畜産学入門	2		F2			
		統計基礎	2		F2			
		地域再生・活性化	2	F2				
	専門 基 礎 科 目	必	農学概論	2	F2			農
必		国際食農科学総論	2	F2				
必		栄養食品科学	2	F2				
必		国際地域農業論	2	F2				
必		食農基礎実験	1	L4				
必		植物生産・生理学	2	L2			農	
必		国際食農教育・学習論	2	L2			農	
民俗学		2		F2				
専門 科 目		必	食農野菜学	2	F2			農
		必	食品加工学	2	F2			農
	必	食品材料学(一)	2	F2			農	
	必	国際食農文化資源論	2	F2			農	
	フードスペシャリスト論	2	F2					
	グローバリゼーションと食品流通	2	F2					
	食育と食生活論	2	F2				農	
	必	食品衛生学	2	L2				
	必	食品材料学(二)	2	L2			農	
	必	食農作物学	2	L2			農	
専門 コ ア 科 目	必	消費経済学	2	L2			農	
	調理学	2	L2					
	食農と協同組合	2	L2				農	
	グローバリゼーションとフェアトレード	2	L2					
	食農文化論	2	L2					
	必	食農政策法制論	2		F2		農	
	必	農村社会学	2		F2			
	必	地域活性化論	2		F2		農	
	必	比較農業史	2		F2		農	
	持続的農業論	2		F2			農	
食品機能学	1		F1					
食農果樹学	2		F2			農		

分野	区分	授業科目	単位数	週時間数				教職
				一年次	二年次	三年次	四年次	
専門教育科目	専門コア科目		2			F2		
		必	農業経営学	2			L2	農
		必	国際食農商品戦略論	2			L2	
			農業生産と気象	2			L2	農
			フードコーディネータ論	2			L2	
			学習と参加の理論	2			L2	
			比較食文化史	2			L2	
			農村女性論	2			L2	
			植物育種学	2			L2	
		行動経済学	2			L2		
		学際領域	食農とメディア	2			L2	
	総合化科目	必	食農基礎実習	2	4			農
		必	食農基礎演習	4	4			
		必	食農専門実習	2		4		
		必	食農専門演習	4		4		
		必	食品分析学実験	2		L4		
		必	食農ファームステイ	2		L2		
		必	食農フィールドスタディ	2			L2	
		必	食品加工品質評価学実習	1			F4	
		必	食品安全評価学実験	1			F4	
			食農文化演習	2			F2	
			食品機能学実験	1			L4	
			調理学実習	2			L4	
		必	国際食農科学演習(一)	2			F2	
		必	国際食農科学演習(二)	2			L2	
		必	国際食農科学演習(三)	2				F2
		必	国際食農科学演習(四)	2				L2
必		卒業論文	4				4	

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。教職欄の「必」・「○で囲んだ科目」は、教員免許取得の主要科目のため、教職必修科目とする。

卒業要件単位数		
授業科目区分		必要単位数
(a) 総合教育科目	必修科目	7単位
(b) 外国語科目	必修科目	8単位
	選択必修科目	4単位
(c) 専門教育科目	必修科目	71単位
	選択必修科目	12単位
	選択科目	12単位
(d) 総合教育科目 + 外国語科目 + 専門教育科目 の選択科目		10単位以上
合計		124単位以上

卒業要件単位数について

- 区分(d)には、次の単位を含めることができる。
 - 他学部聴講・他学科聴講・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位。
ただし、合計して30単位を上限とする。
(他学部聴講・他学科聴講の履修制限単位数は16単位)。
 - 選択必修科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
 - 区分(c)の選択科目のうち、卒業要件の必要単位数を超えて修得した単位。
- リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

- 注) 1 週時間数欄のFは前学期配当科目、Lは後学期配当科目を表す。
- 外国語科目の実用英語科目は、8科目中から2科目を選び必修とする。
 - 外国語科目の初修外国語科目は、全科目についてステップ制とする(各外国語について、(一)の単位を修得しなければ(二)、(二)の単位を修得しなければ(三)、(三)の単位を修得しなければ(四)を履修できないという制度)。
 - 学科基礎科目の人間関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 学科基礎科目の社会関係分野の科目は、4科目中から2科目を選び必修とする。
 - 学科基礎科目の自然関係分野の科目は、5科目中から2科目を選び必修とする。

英語による専門教育プログラム関係科目

(1) プログラム名

Special Program (Conducted in English) : Agriculture, Food and Environment

(2) 目的

本学では、多数の留学生および海外協定校からの交換留学生を受け入れており、本学の高度な専門教育を効率的に学習させるためには英語による授業が望ましいと考えています。さらに、国際社会に飛び立つ日本人学生にとっては英語で専門分野を理解する能力が不可欠です。このようなグローバル化時代に対応した大学教育の必要性から本プログラムを実施します。

(3) 内容

本学は、食料、環境、健康、資源エネルギーという人類の課題に対して、農学および関連領域から貢献する人材の育成を目指しています。3キャンパス6学部24学科体制の下で専門的な教育研究を実施し多大な成果をあげてきましたが、これらの課題は相互に関連するもので、学際的アプローチも重要です。たとえば食料問題は食料の生産・分配・消費に関する諸問題の総称ですが、食料生産は農業や食品加工業によって遂行され、自然環境、農業技術、食品加工技術などと深く関わってきます。分配は市場経済メカニズムだけでなく保蔵技術の改良によって流通範囲が拡大しつつあります。消費には所得水準のみならず地域固有の食文化が反映されます。

近年の人口増加に見合う食料の増産は現代農学の顕著な成果でしたが、同時に環境負荷の増大や食の安全性の危惧が表面化してきました。今日、環境保全や安全食料の確保の必要性が世界的規模で認識されています。そこで、農業、食料、環境について、広義の農学的視点から基礎知識の修得を目指す全学共通プログラムを開講します。

まさに、食料と環境についての基礎知識を総合的に修得することは、21世紀の人類繁栄に貢献することにつながります。修得者の国際貢献を推進するため、世界共通語である英語を使用言語として実施します。国際的な活動を志向する日本人学生の英語力と専門的知識の向上を図るとともに、特に欧米などからの留学生や海外協定校からの交換留学生にとっては、日本やアジアの食料・農業・農村・環境・文化を概観できる機会となるよう講義・見学などの内容に配慮します。

(4) 開講科目

後掲の科目一覧表のとおり

(5) 本プログラムの特徴

① すべて英語による授業

本プログラムは、本学の専門教育をすべて英語によって実施するものです。単に語学教育のプログラムではないので注意してください。

② すべての学生を対象に開講

本プログラムは6学部全学科を対象としたオープンプログラムで、開講学年はフリーです。

フィールドスタディ等学外で実施する科目を除き、当面の開催場所は以下の通りです。

「Introduction to Bioindustry」と「Eastern Hokkaido:Identifying Opportunities in a Region of Declining Population」は北海道オホーツクキャンパスで開講します。

「Ecology and Agricultural Production」は、厚木キャンパスで開講します。その他の科目については、世田谷キャンパスで開講します。

③ BasicからAdvancedまで開講

本プログラム科目は、比較的やさしいレベルの科目からより高度なレベルの科目まで開講されます。自分の英語力にあわせて履修を考えてください。

④ 授業の開講について

各講義科目は、半期で週1時限（1コマ）開講の2単位です。

履修については、次頁の科目とあわせて、必ず留意事項を確認してください。

⑤ 修得単位数について

修得した単位は、学則第15条の3に規定するとおり、卒業要件単位に含めることができます。ただし、学科毎に卒業要件単位に含めることができる単位の上限が異なるため、注意してください。（※詳細はp.120を参照すること）

⑥ 視察、演習、実験・実習およびフィールドスタディは実費を徴収します。

(6) 履修上の注意事項

自分の英語能力にあわせて履修を考えましょう。学年を問わずいつでも履修できますので、英語能力アップを図った上で履修が可能です。

Special Program (Conducted in English) : Agriculture, Food and Environment 科目一覧

科目名	配当 学年	配当 学期	単 位 数
Basic (recommended for 1 ~ 2 Year students)			
Environment and Agriculture	1~4	F	2
Food and Environment in Economic Development		F	
Life history and Applications of Landscape Plants ※2		F	
Japanese Agricultural Development		F	
Comparative Developing Agriculture		L	
Forest and Forestry ※1		F	
Farmers and Consumers in Japan ※6		L	
Ecology and Agricultural Production		L	
Comparative Nature Study from Cultural Perspective ※2		F	
Intermediate (recommended for 2 ~ 3 Year students)			
Introduction to Bioindustry	1~4	F	2
Advanced (recommended for 3 ~ 4 Year students)			
Food and Health 1	1~4	F	2
Food and Health 2		L	
Molecular Biology and Biotechnology		L	
Agro-Environmental Engineering ※3		L	
Planning and Design of Landscape Architecture ※2		F	
Vegetable Production Technologies for International Cooperation		F	
Global Food Systems		F	
Agricultural Trade		L	
Ecology and Food Production		L	
Comparative Food Production Technologies		L	
Edo Aesthetics and Environmental Resiliency ※2		L	
Eastern Hokkaido: Identifying Opportunities in a Region of Declining Population		L	
Common (recommended for 1 ~ 4 Year students)			
Agricultural Scientific English for International Cooperation	1~4	L	2
Field Study of Food and Environment ※4		L	
Sustainable Agriculture in Asia ※4		L	
Group Approach to Food and Environment ※5		L	

【留意事項】

- ※1 実習を伴う。
 - ※2 視察を行う。
 - ※3 前期の「Environment and Agriculture」を履修していることが望ましい。
 - ※4 当該科目は隔年開講である（*「世界学生サミット」(注)が海外で開催される年度は開講しない）。
開講の有無については、4月に学生ポータルに掲出するので確認すること（担当課：国際協力センター）。
 - ※5 「世界学生サミット」の座長又は発表者のみが履修できる。
 - ※6 開講日程等の詳細を7月に学生ポータルに掲出するので確認すること。
- (注) 詳細は、本ハンドブックの「国際教育プログラム・外国人留学生支援」の頁を参照のこと。

全学共通科目

日本語

- 日本語は、外国人留学生及び帰国子女に限り履修することができます。
- 修得した単位は、学則第15条の3第2項に規定するとおり、16単位まで卒業要件単位に含めることができます。ただし、学科毎に卒業要件単位に含めることができる単位の上限が異なるため、注意してください。
- 履修手続き方法は、「履修のてびき」(別冊)を参照してください。

科目 区分	授 業 科 目	単 位 数	週時間数				備 考
			一 年 次	二 年 次	三 年 次	四 年 次	
選 択 科 目	初 級 日 本 語(一)	2	F2				履修することができる者は、外国人留学生 及び帰国子女に限る
	初 級 日 本 語(二)	2	F2				
	初 級 日 本 語(三)	2	L2				
	初 級 日 本 語(四)	2	L2				
	中 級 日 本 語(一)	2	F2				
	中 級 日 本 語(二)	2	F2				
	中 級 日 本 語(三)	2	L2				
	中 級 日 本 語(四)	2	L2				
	上 級 日 本 語(一)	2		F2			
	上 級 日 本 語(二)	2		F2			
	上 級 日 本 語(三)	2		L2			
	上 級 日 本 語(四)	2		L2			

教職・學術情報課程

教 職 課 程
學 術 情 報 課 程

教 職 課 程

教職課程履修にあたっては、教員免許状取得のための単位だけを修得すればよいという安易な考え方ではなく、学校教育は新しい時代を担う生徒の育成にかかわるものであるだけに、教員になることを前提として資質の向上を図るよう取り組んでください。

1 本学で取得できる教員免許状

本学で取得できる教員免許状は、下記のとおりです。

(1) 各学部

○中学校・高等学校教諭免許状

学 科	中 学 (一 種)	高 校 (一 種)
農学部 農学科 動物科学科 生物資源開発学科 デザイン農学科	理科 理科 理科	理科・農業 理科・農業 理科・農業 農業
応用生物科学部 農芸化学科 醸造科学科 食品安全健康学科 栄養科学科	理科 理科 理科 理科	理科・農業 理科 理科・農業 理科
生命科学部 バイオサイエンス学科 分子生命化学科 分子微生物学科	理科 理科 理科	理科・農業 理科・農業 理科・農業
地域環境科学部 森林総合科学科 生産環境工学科 造園科学科 地域創成科学科	理科・技術 理科・技術 理科	理科・農業 理科・農業 理科・農業 農業
国際食料情報学部 国際農業開発学科 食料環境経済学科 国際バイオビジネス学科 国際食農科学科	理科 社会 社会	理科・農業 地歴・公民・農業 情報・農業 農業

○栄養教諭免許状

学 科	
応用生物科学部 栄養科学科	一種免許状

(2) 大学院農学研究科

専 攻	課 程	中学専修	高校専修
農学専攻, 畜産学専攻, バイオセラピー学専攻 林学専攻, 農業工学専攻, 造園学専攻 国際農業開発学専攻, 農業経済学専攻 国際バイオビジネス学専攻	博士前期	—	農 業
バイオサイエンス専攻, 農芸化学専攻, 醸造学専攻 食品栄養学専攻		理 科	理 科

2 教員免許状取得のための基礎資格および最低修得単位数

教員免許状を取得するためには、教育職員免許法第5条（別表1・2）の規定により定められた基礎資格と大学における教職に関する科目、教科（ないし栄養に係る教育）に関する科目、教科又は教職に関する科目等について所定の単位を修得しなければなりません。

注意しなければならないことは、本学を卒業するために必要な条件と教員免許状取得に必要な条件とはそれぞれ別な基準に属していることです。あらかじめ自己の進路を十分に考えて教職課程を最後まで履修する決意が必要です。また、教職課程を履修する場合には、在学中の学習計画を十分に立てておくことが必要です。

別表1 教育職員免許法第5条別表第1（抜粋）

所要資格 免許状の種類		基礎資格	大学において必要とする最低修得単位数		
			教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目
中学校 教諭	専修免許状	修士の学位を有すること	20	31	32
	一種免許状	学士の学位を有すること	20	31	8
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること	10	21	4
高教 学校 教諭	専修免許状	修士の学位を有すること	20	23	40
	一種免許状	学士の学位を有すること	20	23	16

※中学校・高等学校一種免許状は、上記表の「教科に関する科目」「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」について、大学において必要とする最低必要修得単位数を満たし、免許教科ごとに59単位修得しなければなりません。

別表2 教育職員免許法第5条別表第2の2（抜粋）

所要資格 免許状の種類		基礎資格	大学において必要とする最低修得単位数		
			栄養に係る教育に関する科目	教職に関する科目	栄養に係る教育又は教職に関する科目
栄養 教諭	一種免許状	学士の学位を有すること、かつ、管理栄養士の免許を受けていること。	4	18	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること及び栄養士の免許を受けていること	2	12	



3 教職課程の内容

本学の教職課程の目的は、その建学の精神に則り、教員としての主要な資格要件を満たす卒業生を社会に送り出すことにあります。別表1に基づき、「教職課程履修案内」（6月の履修申込時に配付）にて取得単位数について解説します。

教職課程の履修申込みについては、履修のてびきを参照の上、申込みを行ってください。教職課程履修希望者は、所属学科の授業科目配当表の「教職欄」を参照して、「必」のついている科目および「農」・「理生」など免許教科のマークがついている科目を履修してください。

(1) 教員免許状取得のための前提条件

教育職員免許法施行規則第66条の6により、教員免許状を取得するためには以下の科目を必ず修得しなければなりません。

授 業 科 目	単 位 数
英語（一）	2
情報基礎（一）	2
日本国憲法	2
スポーツ・レクリエーション（一）	1
スポーツ・レクリエーション（二）	1

(2) 教科に関する科目

一部の教職開講科目を除いた、自学科の配当科目を修得しなければならない。また、修得しなければならない科目、および修得しなければならない単位数は免許の教科ごとに定められています。

詳しくは「教職課程履修案内」に記されています。

(3) 教職に関する科目

教職に関する科目ならびにその単位数は次頁の表のとおりです。

	授業科目	単位数	中学	高校	栄養
必修科目	教職概論	2	必	必	必
	教育原理	2	必	必	必
	教育心理学	2	必	必	必
	教育制度概論	2	必	必	必
	教育課程論	2	必	必	必
	特別活動論	2	必	必	必
	教育方法論	2	必	必	必
	生徒・進路指導論	2	必	必	—
	教育相談論	2	必	必	必
	道德教育論	2	必	選択	必
	教職実践演習（中・高）	2	必	必	—
	教育実習Ⅰ	3	必	必	—
	教育実習Ⅱ	2	必	—*	—
	生活指導論	2	—	—	必
	教職実践演習（栄養教諭）	2	—	—	必
	栄養教諭実習	2	—	—	必
選択必修科目	理科教育法Ⅰ	2	必	必	—
	理科教育法Ⅱ	2	必	必	—
	理科教育法Ⅲ	2	必	必	—
	理科教育法Ⅳ	2	必	必	—
	社会科・地歴科教育法Ⅰ	2	必	必	—
	社会科・地歴科教育法Ⅱ	2	必	必	—
	社会科・公民科教育法Ⅰ	2	必	必	—
	社会科・公民科教育法Ⅱ	2	必	必	—
	農業科教育法Ⅰ	2	—	必	—
	農業科教育法Ⅱ	2	—	必	—
	技術科教育法Ⅰ	2	必	—	—
	技術科教育法Ⅱ	2	必	—	—
	技術科教育法Ⅲ	2	必	—	—
	技術科教育法Ⅳ	2	必	—	—
	情報科教育法Ⅰ	2	—	必	—
	情報科教育法Ⅱ	2	—	必	—
選択科目	理科教育法Ⅴ	2	選択	選択	—
	農業科教育法Ⅲ	2	—	選択	—
	技術科教育法Ⅴ	2	選択	—	—

* 中学校免許の教育実習Ⅱを履修している場合、高校免許の単位に加算できます。

注) — 印の科目は履修できません。

注) 選択必修科目は、取得する免許教科ごとに修得しなければなりません。

(4) 教科又は教職に関する科目

下表の1科目です。「教科に関する科目」と「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて履修した単位を当てることができます。

授 業 科 目		単位数
福祉概論（中学校免許取得者は必修）		2
「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位		
合 計	中学	8単位以上
	高校	16単位以上

(5) 栄養に係る教育に関する科目

栄養に係る教育に関する科目ならびにその単位数は下表のとおりです。

授 業 科 目	単位数
栄養教諭論（一）	2
栄養教諭論（二）	2

4 受講料

- 1 免許教科 120,000円
- 2 免許教科 140,000円
- 3 免許教科 160,000円
- 4 免許教科 180,000円

注 意

- (1) 履修申込は1年次限りです。
 - (2) 受講料は教育実習費・栄養教諭実習費を含んでいます。
 - (3) 中学理科，高校理科を履修する場合は，120,000円となります。
 - (4) 受講料は一括払いで卒業するまで有効です。また，納金した受講料については返金しません。
 - (5) 教職課程の判断により，教職課程履修中止等の措置をとる場合があります。
- ※ 申込説明会・手続等については，必ず履修のてびき（教職課程の履修登録について）を確認してください。

5 教職課程授業科目配当表

必修 選択	別	授 業 科 目	単 位 数	週時間数				開講学科														備 考						
				一 年 次	二 年 次	三 年 次	四 年 次	農 学	動 物	資 源	デ ザ イ ン	化 学	醸 造	健 康	栄 養	バ イ オ	生 化	微 生 物	森 林	工 学	造 園		創 成	開 発	経 済	ビ ジ ネ ス	食 農	
教職に関する科目	必修科目	教職概論	2	L2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		教育原理	2	L2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教育心理学	2	L2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教育制度概論	2		F2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教育課程論	2		F2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		特別活動論	2		F2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教育方法論	2		L2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生徒・進路指導論	2		L2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教育相談論	2		F2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		道德教育論	2			F2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中学必修
		教育実習Ⅰ	3				2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中高必修
		教育実習Ⅱ	2				2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中学必修
		教職実践演習(中・高)	2				L2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生活指導論	2			L2									○													栄養教諭用
	栄養教諭実習	2				2								○													栄養教諭用	
	教職実践演習(栄養教諭)	2				L2								○													栄養教諭用	
	選択必修科目	理科教育法Ⅰ	2		F2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		理科教育法Ⅱ	2		L2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		理科教育法Ⅲ	2			F2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		理科教育法Ⅳ	2			L2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		社会科・地歴科教育法Ⅰ	2			F2																		○	○			
		社会科・地歴科教育法Ⅱ	2			L2																		○	○			
		社会科・公民科教育法Ⅰ	2			F2																		○	○			
		社会科・公民科教育法Ⅱ	2			L2																		○	○			
		農業科教育法Ⅰ	2			F2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		農業科教育法Ⅱ	2			L2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		技術科教育法Ⅰ	2			F2														○	○							
		技術科教育法Ⅱ	2			L2														○	○							
		技術科教育法Ⅲ	2			F2														○	○							
		技術科教育法Ⅳ	2			L2														○	○							
		情報科教育法Ⅰ	2			F2																			○			
		情報科教育法Ⅱ	2			L2																			○			
選択科目		理科教育法Ⅴ	2			F2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		農業科教育法Ⅲ	2			F2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	技術科教育法Ⅴ	2			F2														○	○								
教科に関する科目	理科	物理学実験(コンピュータ活用を含む)	1			L2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
		化学実験(コンピュータ活用を含む)	1			F2	○						○			○	○	○	○	○	○	○	○					
		生物学実験(コンピュータ活用を含む)	1			L2					○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				
		地学実験(コンピュータ活用を含む)	1			F2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	社会	倫理学	2			L2																		○	○			
		哲学	2			F2																		○	○			
	地理歴史	人文地理学	2			F2																		○				
		自然地理学	2			L2																		○				
	公民	倫理学	2			L2																		○				
		哲学	2			F2																		○				
農業	職業指導	2				L2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭論(一)	2			F2							○															
	栄養教諭論(二)	2			L2							○																
教科又は教職に関する科目	福祉概論	2	L2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				



学術情報課程

1 学術情報課程とは

本課程の教育は、企業の情報部、資料部、特許部、その他の情報部門、研究開発部門および営業部門、ならびに公共機関としての博物館、資料館、科学館、児童館、公共図書館、情報センター等において、科学技術に関する情報の調査・収集・整理・保管・検索・提供等にあたる技術者となる基礎を習得させることを目的としています。

大学卒業後、研究、技術、営業その他どんな仕事に従事する場合でも非常に役立つものです。この基礎能力は、情報化時代といわれる今日、コンピュータ等の機器は急速に進歩しています。これらのハードを利用する技術を持った人材の養成は、大学その他において盛んに行われています。しかし、現在わが国では、科学技術情報の調査から提供までを担当できる専門家が不足し、その養成教育は大学における教育の盲点の一つと言えます。

情報を取扱う人材養成は、理科学系の大学において、ほとんど行われていません。その結果、企業や公共機関において、科学技術情報を取扱う人材の確保に困難を生じています。本課程は、全学科学学生に開放設置され、社会の要求にこたえるために開設されました。この課程を修了すると学芸員または司書の資格が与えられます。

2 学芸員と司書

学芸員は、博物館法によって登録または指定された博物館、動物園、植物園、水族館、美術館など（以下「博物館」という）において、調査・研究・展示等の業務を担当する専門職員です。なお、博物館には、学芸員をおくことが法律で義務づけられています。有資格者の就職先としては、資料館、植物園、動物園、水族館、博物館、その他の社会教育施設、展示企業などがあります。さらに近年、区市町村立の博物館が多くなり、これらを管轄する教育委員会では、学芸員資格を有する者を採用する傾向が多くなってきています。

司書は、図書館法によって定められた図書館に置かれる専門職員です。図書館は、図書、記録、資料を収集し、それを整理・保存して利用に供し、教育、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、司書はこれらの専門業務を行う職員です。有資格者の就職先としては、図書館、官公庁および企業等の研究開発部門、資料室などがあげられます。

3 資格取得について

「学芸員資格」

博物館法第5条第1号で学芸員となる資格を有する者を「学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの」と規定しています。この規定に基づいて、本学では卒業要件を満たし所定の単位（次頁参照9科目19単位）を修得した者に対し、資格の証明として「博物館に関する科目の単位修得証書」を授与します。

「司書資格」

図書館法第5条第2号で司書となる資格を有する者を「大学を卒業した者で大学において図書館に関する科目を履修したもの」と規定しています。この規定に基づいて、本学では卒業要件を満たし所定の単位（次頁参照必修11科目22単位と選択2科目2単位の合計13科目24単位以上）を修得した者に対し、資格の証明として「図書館に関する科目の単位修得証書」を授与します。

4 履修科目について

平成24年4月1日改正

資格	開 講 科 目		履修年次	単 位
学芸員	必修	生涯学習概論	3	2
		博物館概論	2	2
		博物館経営論	3	2
		博物館資料論	2	2
		博物館資料保存論	3	2
		博物館展示論	3	2
		博物館情報・メディア論	3	2
		博物館教育論	3	2
		博物館実習	4	3
司書	必修	生涯学習概論	3	2
		図書館概論	2	2
		図書館情報技術論	3	2
		図書館制度・経営論	3	2
		図書館サービス概論	2	2
		情報サービス論	2	2
		児童サービス論	2	2
		情報サービス演習	4	2
		図書館情報資源概論	3	2
	情報資源組織論	3	2	
	情報資源組織演習	4	2	
	選択	図書館基礎特論	3	1
		図書館サービス特論	3	1
図書館情報資源特論		3	1	
図書館総合演習		3	1	
図書館実習		4	1	

- ① 学芸員科目の博物館実習は、4年次に週2コマの学内実習（隔週）と10日間の館務実習を実施する。
- ② 司書科目の情報サービス演習（2単位）及び情報資源組織演習（2単位）はそれぞれ60時間の演習を行う。
- ③ 集中講義は夏季休業期間中に実施する。
- ④ 各講義の最終日に試験を実施する。夏季集中講義は再試験を行わない。
- ⑤ 学芸員科目は、3年次終了時に未修得の科目がある場合は4年次に博物館実習を履修できない。
- ⑥ 司書科目は3年次終了時に図書館概論、情報サービス論、図書館サービス概論、図書館情報技術論、情報資源組織論、図書館情報資源概論を未修得の場合は、4年次の情報サービス演習、情報資源組織演習を履修できない。
- ⑦ 司書科目の図書館実習は、3年次終了時に必修科目18単位を取得できない場合は履修することができない。また、図書館実習（1単位）は45時間以上の実習を行う。

◎ 履修方法についての説明会

学術情報課程の履修登録および単位取得についての説明会は1年次の11月に実施しますので、履修希望者は必ず説明会に出席し、所定の期日までに履修手続を行ってください（履修申込は1年次限りです）。

※申込説明会・手続等については、必ず履修のてびき（学術情報課程の履修登録について）を確認してください。

5 履修費用について

資 格	金 額
学芸員資格・司書資格(単修)	130,000円
学芸員資格・司書資格(併修)	180,000円

資 格

資 格

資格種類	資格名	学部・学科名		農 学 部			応用生物科学部			生命科学部			地域環境科学部			国際食料情報学部			生物産業学部						
		農 学 科	動物科学科	生物資源開発学	デザイン農学	農 芸 学	醸造科学科	食品安全健康学	栄養科学科	バイオサイエンス学	分子生命科学科	分子微生物学	森林総合科学科	生産環境工学	造園科学科	地域創成科学科	国際農業開発学	食料環境経済学	国際バイオビジネス学	国際食農科学科	北方園農学	海洋水産学	食香粧化学科	自然資源経営学	
1.教員免許状 教職課程を履修し、所定の科目を履修、単位を修得して卒業すれば取得できる資格	高等学校教諭	理 科	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		地理歴史																●							
		公 民																●							●
		農 業	●	●	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
		情 報																	●						
	中学校教諭	理 科	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●		●
		社 会																●	●						●
技 術																								●	
		栄養教諭 一種							●																
2.資格 所定の科目を履修、単位を修得し、卒業(申請)すれば取得できる資格		司 書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
		学 芸 員	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		測 量 士 補											●	●	●	●									
		栄 養 士								●															
		HACCP(ハサップ)管理者							●																
		家 畜 人 工 授 精 師		●																					
		樹 木 医 補										●		●	●										
		環 境 再 生 医 (初 級)			●	*																			
		自 然 再 生 士 補			●	*						●	*	●	●										
		社 会 調 査 士																						●	
		※「食の6次産業化プロデューサー」は 国家認定制度																			●	●	●	●	●
	森林情報士 2級森林GIS部門											●													
3.任用資格 所定の科目を履修、単位を修得し、卒業後にその資格に関連する職務に就業した場合に申請のうえ取得できる資格(資格のみを取得することはない)		毒 物 ・ 劇 物 取 扱 責 任 者					●				●												●		
		食 品 衛 生 監 視 員					●		●	●	●												●		
		食 品 衛 生 管 理 者					●		●	●	●												●		
4.受験資格 所定の科目を履修、単位を修得し、卒業すれば受験資格が得られる(一部実務経験を要するものまたは在学中に受験可能なものがある)		管 理 栄 養 士							●																
		フ ー ド ス ペ シ ャ リ ス ト																	●						
		ペ ッ ト 栄 養 管 理 士		△																					
		危 険 物 取 扱 者 (甲 種)	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○
		2級ビオトップ計画管理士	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
		2級ビオトップ施工管理士	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	施工管理技士	建設機械施工技士(1級・2級)											⊕	⊕	⊕	⊕									
		土木施工管理技士(1級・2級)											⊕	⊕	⊕	⊕									
		建築施工管理技士(1級・2級)											⊕	⊕	⊕	⊕									
		電気工事施工管理技士(1級・2級)											⊕	⊕	⊕	⊕									
管工事施工管理技士(1級・2級)												⊕	⊕	⊕	⊕										
	造園施工管理技士(1級・2級)											⊕	⊕	⊕	⊕										

上記一覧には、大学卒で一般的に得られる資格は掲載していません。

- : 該当する学科で所定の科目を履修、単位を修得し、卒業すれば取得(受験)可能なもの
- ◎ : 卒業すれば受験可能なもの(修得単位により在学中でも受験可能)
- : 履修(他学部・他学科聴講等を含む)のしかたによって、在学中でも受験可能なもの
- ▲ : 在学中に受験可能であり、試験科目の一部免除が認められるもの
- △ : 在学中に受験可能なもの
- ⊕ : 該当する学科で所定の科目を履修、単位を修得し、卒業後一定の実務経験を経て受験資格が与えられるもの
- * : 修得単位により、在学中でも取得が可能なもの

上記以外でも、次のような資格取得を学科でサポートしています。

[全学科] Microsoft Office Specialist

[国際バイオビジネス学科] 日本商工会議所簿記検定試験(2級)/ソフトウェア開発技術者/システムアナリスト/基本情報技術者/初級技術システムアドミニストラータ /気象予報士/TN法インストラクター/中小企業診断士

資格内容

種類	資格名	内容	種類	資格名	内容	
1 教員免許状	教員免許状	教育職員免許法にもとづく中学及び高等学校の普通免許状と栄養教諭免許状。	3 任用資格	食品衛生監視員	卒業後公務員となり、保健所等食品衛生行政に関する職務に配属された場合に任用される資格。食品関連の施設や病院、学校、寄宿舎等給食施設に対して、監視指導を行う。	
	2 資格	司書		公共の図書館等の専門職員になるための資格。	食品衛生管理者	乳製品、食肉製品などの製造・加工を行う施設において、その製造・加工を衛生的に管理し、法令に違反しないよう、監督・指揮を行う。
		学芸員		歴史・芸術・自然科学などの博物館で専門的職員になるための資格。	管理栄養士	「傷病者に対する療養のために必要な栄養指導者」、「個人の身体状況・栄養状態等に応じた高度の専門的知識および技術を要する健康の保持増進のための栄養指導者」として、医療施設・厚生施設・保健所・教育施設等で業務を行う。
		測量士補		測量に従事する測量士の助手的な役割を果たす。	フードスペシャリスト	食品の官能評価・識別など「食に関する高度な専門知識・技術を有する者」として、食品に関する品質判定、広報活動、教育、販売促進とコーディネート、メーカーへの提言などを主な業務とし、消費者の満足度向上と食品関連企業の発展に貢献する。
		栄養士		栄養学を基本に「食」の管理やアドバイスをするのが主な業務。保健所・学校・病院・社会福祉施設・食品・製薬会社などで幅広く活躍している。	ペット栄養管理士	ペットの栄養管理や指導に活躍できる資格。
		HACCP管理者		食品の製造や衛生管理を行う施設の安全性を確保するために、食品衛生法の「総合衛生管理製造過程」に組み込まれたHACCPシステムに基づいて、設備の保守管理や衛生管理を総合的に行う。	危険物取扱者（甲種）	消防法で定められた発火性・引火性の高い物質および引火を促進する性質のある物質の貯蔵所・取扱所において危険物を保安管理・監督する。
		家畜人工授精師		家畜（牛・豚）の人工授精または受精卵の移植および体外受精卵の生産を行う。	2級ビオトープ計画管理士	地域の自然生態系の保護・保全、復元、創出の理念や野生生物等の調査技術を踏まえた広域的な地域計画（都市計画、農村計画）のプランナーとなるための資格。
		樹木医補		樹木の保護管理、樹勢回復、治療などに関する専門家で、環境緑化全般の技術者として自然の緑を守る役割の一端を担う。	2級ビオトープ施工管理士	地域の自然生態系の保護・保全、復元、創出の理念や野生生物等の調査技術を踏まえた設計・施工にあたる事業現場担当の技術者となるための資格。
		環境再生医（初級）		自然環境の知識を基礎に、地域の歴史・風土や人々の生活への理解などを裏付けとし、協働の調整や推進を行う。環境再生の基礎的な知識を持ち、活動を補佐する。	建設機械施工技士（1級・2級）	一般建設業の現場において各種建設機械の運転・操作、また各種建設機械を用いた施工における指導・監督的業務に携わるための資格。
		自然再生士補		自然再生に必要な基礎的な知識を有する自然再生の推進者。自然再生士が実行する自然再生業務や活動を補佐する。	土木施工管理技士（2級）	河川、道路、橋梁などの土木工事において、主任技術者として施工計画を作成し、現場における工程管理、安全管理など工事施工に必要な技術上の管理などを行う。
		社会調査士		社会調査の技術を用いて世論や市場の動向、社会現象等をとらえることのできる能力を有する専門家。	建築施工管理技士（1級・2級）	建築一式工程の実施に当たり、その施工計画及び施工図の作成並びに当該工事の工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工などを行う。
		食の6次産業化プロデューサー（レベル1・2・3）		生産（1次産業）、加工（2次産業）、流通・販売・サービス（3次産業）の一体化や連携により、地域の農林水産物を活用した加工品の開発、消費者への直接販売、レストランの展開など、食分野で新たなビジネスを創出する。	電気工事施工管理技士（1級・2級）	電気工事の実施に当たり、その施工計画及び施工図の作成並びに当該工事の工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工管理などを行う。
		森林情報士（2級森林GIS部門）		森林GISを中心とした基礎知識、基本的操作方法を習得し森林管理を専門的に行う技術者。	管工事施工管理技士（1級・2級）	建設業のうち冷暖房・空調設備工事、給排水・給湯設備工事、浄化槽工事、ガス配管工事、衛生設備工事などの管工事において、施工計画を作成し、工程・品質・安全管理等の業務を行う。
3 任用資格	毒物・劇物取扱責任者	農業や塗料、その他危険な化学薬品の製造・輸入販売業においてこれらの毒物・劇物の危険防止のため、適正な保管・管理を行う業務に従事する。	造園施工管理技士（1級・2級）	公園や緑地、遊園地などの造園工事における主任技術者として、施工計画の作成や現場の工程管理、資材等の品質管理、作業の安全管理などを行う。		

